

2021(R3)-2022(R4)年度 広島市現代美術館年報

---

# ANNUAL REPORT

## 2021-2022

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

---

2021(R3)-2022(R4)年度  
広島市現代美術館年報



# 目次

## Contents

どこかで?ゲンビ コレクション編 Dokokade? Genbi: Collection	IN 市役所 [広島市役所] NHK de ミチカにアート [NHK広島放送センタービル] IN 市内文化施設 [ヌマジ交通ミュージアム、広島城 二の丸、5-Days こども文化科学館、広島市江波山気象館、広島市郷土資料館] ケンビとゲンビの作品を並べたら、美術についての疑問が解ける(かも)展 [広島県立美術館] びじゅつの謎をあそぶ。展 [東広島市立美術館]	03 03 04 07 12
どこかで?ゲンビ ビデオアート編 [鶴見分室101] Dokokade? Genbi: Video art [Tsurumi Annex 101]	毒山凡太郎 / 原田裕規 飯川雄大 / 田中功起 小森はるか + 瀬尾夏美	16 17 18
どこかで?ゲンビ アーティスト編 Dokokade? Genbi: Artist	諫山元貴 / 丸橋光生 [広島駅南口地下広場ショーウィンドウ] トウ / 園田昂史 [広島駅南口地下広場ショーウィンドウ] and DOMANI [村上友重 + 黒田大スケ] [広島城 二の丸] 松本千里 / 久保寛子 [エビデンギャラリー] 平野薫 / 米倉大五郎 [エビデンギャラリー] 手嶋勇氣 [エビデンギャラリー]	20 21 22 24 25 26
長期プロジェクト Long-term Projects	ヒスロム [現場サテライト] 2m26 [ツールボックス・プロジェクト] トヨダヒトシ [映像日記 / スライドショー] 横山裕一: [実施しろ] [何をだ] 新生タイポ・プロジェクト	28 31 33 35 37
地域連携 Regional Cooperation	どこかで?ゲンビ 学校編 どこかで?ゲンビ ポスター編 鶴見分室101のウッドデッキをつくろう / オトナのための現代アート塾 シャッターアート・ミュージアム ゲンビのアート講座 / ゲンビアートクルーズ ありがとう101	39 42 44 45 46 47
情報発信 Information Spreading	休館中ウェブサイト / 休館中ロゴ / 工事日記 休館中ニュースレター / 休館中キャラクター 金座街懸垂幕 リニューアルオープン	49 50 51 52
特別展 Special Exhibitions	リニューアルオープン記念特別展 Before/After	55
その他 Others	作品収集 作品貸出、寄託 広島市現代美術館職員名簿	57 66 72

# どこかで?ゲンビ コレクション編

Dokokade? Genbi:  
Collection

## どこかで?ゲンビ IN 市役所

Dokokade? Genbi: Hiroshima City Hall

実施会期 2021年3月8日(月)~3月19日(金)  
当初予定 2021年1月25日(月)~2月12日(金)  
会場 広島市役所  
観覧料 無料  
主催 広島市現代美術館、広島市役所  
担当 竹口浩司  
入場者数 2,252人

内容 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。市役所編では、現代美術の魅力を親しみやすく伝えることを目的に、展示を行った。フィリップ・キングによる高さ173センチのブロンズ作品《ヒロシマのための記念碑》、平和記念公園・南側緑地帯に設置されている芥川永の代表作《教師と子どもの碑》の原型など、広島と関わりの深い作品を紹介した。閉庁後には、日暮れと共に市役所外壁に加藤立による映像作品《I am a museum》を上映。作家自身が絵画作品を背負って美術館の外に出ることで、様々な場所で作品と観客の出会いが生まれる様子を記録したこの作品により、「どこかで?ゲンビ」の活動を象徴的に示した。

※出品目録、関連記事は2020(R2)年度年報を参照

## どこかで?ゲンビ NHK de ミチカにアート

Dokokade? Genbi: NHK de Mijika ni Art

実施会期 2021年3月8日(月)~3月21日(日)  
当初予定 2021年2月1日(月)~2月14日(日)  
会場 NHK広島放送センタービル  
観覧料 無料  
主催 広島市現代美術館、NHK広島放送局  
担当 竹口浩司  
入場者数 3,560人

内容 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。「NHK de ミチカにアート」では、岡本太郎の《明日の神話(1号原画)》に注目し、その造形的魅力と作品に託された想いを他作品と組み合わせながら紹介した。岡本太郎は、ブロンズ像《若い夢》と《坐ることを拒否する椅子》をあわせて展示しただけではなく、NHK広島放送局・NHK放送技術研究所による「バーチャル・明日の神話」(VR体験コーナー)も設置し、多角的に紹介。他にも三宅一生や殿数侃など、広島出身の作家による作品、平和への願いが込められた作品を展示した。

※出品目録、関連記事は2020(R2)年度年報を参照

# どこかで?ゲンビ IN 市内文化施設

Dokokade? Genbi: Hiroshima City Cultural Facilities

## ヌマジ交通ミュージアム

会 期	2021年10月7日(木)～11月28日(日)	内 容	ヌマジ交通ミュージアムで同時期に開催されていた企画展「アートな乗り物」にあわせて、当館コレクションから乗り物をモチーフにした作品や想起させる作品を選び、展示した。
会 場	ヌマジ交通ミュージアム		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館、ヌマジ交通ミュージアム		クレス・オルデンバーグ《プロフィール・エアフロー》は、アメリカの自動車メーカー・クライスラーが1934年に発売し、空気抵抗の影響を受けにくい流線形の自動車のさきがけとして、歴史にその名が刻まれている名作「エアフロー」をモチーフにした作品。ほかに工業製品を想起させる二つの彫刻作品、アンソニー・カロ《ウォーター・ストリート・スターター》と篠田守男《Tension and Compression 4415》を展示した。
担 当	竹口浩司、清水和音		
入場者数	13,220人		

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
1	クレス・オルデンバーグ <p>Claes Oldenburg</p>	プロフィール・エアフロー、 <p><i>Profile Airflow</i></p>	1969	リトグラフ、紙に型押ししたポリウレタン <p>82,8×164,0（85,0×166,5）</p>
2	アンソニー・カロ <p>Anthony Caro</p>	ウォーター・ストリート・スターター <p><i>Water Street Starter</i></p>	1980	ブロンズ <p>54,0×67,0×39,5</p>
3	篠田守男 <p>Morio Shinoda</p>	テンションとコンプレッション 4415 <p><i>Tension and Compression 4415</i></p>	1975	アルミニウム、ステンレス、真鍮 <p>37,5×67,8×67,6</p>
4	※企画展「アートな乗り物」に出品	ル・コルビュジェ《最小限自動車「マキシマム」》模型 <p><i>Le Corburier, Model for Vulture minimum, "Maximum"</i></p>	(1928-36)	72×190×85

## 広島城 二の丸

実施会期	2021年10月23日(土)～11月14日(日)	内 容	広島城築城以来の歴史や、同時期に開催されていた大菊花展とのつながりを意識し、ものの哀れや世のはかなさを想起させる作品を当館コレクションのなかから5点選び、展示した。
会 場	広島城 二の丸		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館、広島城 二の丸		秋山祐徳太子《虚ろな将軍たち》はトタンを素材にした彫刻作品で、寸胴にかたどられた5体それぞれに勲章が貼り付けられている。バイオリンの裏側に女性の裸体を描いた土屋幸夫《表でもなく、裏でもない、表と裏でもない》は、西洋絵画の歴史を下敷きにして歴史や現実の偶有性を暗示している。ミヤギフシ《花の名前》はローマ神話における花の女神フローラの一人語りから始まり、LGBTQやミヤギの出身地である沖縄の難しさに向き合った映像作品である。
担 当	竹口浩司、清水和音		
入場者数	4,019人		

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
1	秋山祐徳太子 <p>Yutokutaishi Akiyama</p>	虚ろな将軍たち、 <p><i>Hollow Generals</i></p>	1973	トタン、はんだ、ポスターカラー <p>78×34×32、48×24×25、44×20×17、44×20×19、32×21×22</p>
2	荒木高子 <p>Takako Araki</p>	原爆の聖書 <p><i>Atomic-Bomb Bible</i></p>	1984	陶 <p>19,5×41,4×33</p>
3	加納光た、大岡信 <p>Mitsuo Kano, Makoto Ooka</p>	アララットの船あるいは空の蜜 <p><i>Ship for Ararat—Honey for Sky</i></p>	1971-72	木、金属、フィルム、ガラス他 <p>68,3×45×22,3</p>
4	土屋幸夫 <p>Yukio Tsuchiya</p>	表でもなく、裏でもない、表と裏でもない <p><i>Not the front, not the back, no the front with the back</i></p>	1969	アクリル、油彩/バイオリン <p>59,5×20,5×9</p>
5	ミヤギフシ <p>Futoshi Miyagi</p>	花の名前 <p><i>Flower Names</i></p>	2015	ビデオ <p>20分59秒</p>

# 5-Days こども文化科学館

実施会期	2021年10月30日(土)～11月14日(日)	内 容	科学をテーマにした活動を展開しているこども文化科学館では、当館コレクションから目の錯覚を利用した作品やからだの一部をモチーフにした作品など計6点を選び、展示した。
会 場	こども文化科学館		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館、こども文化科学館		三木富雄《耳》は人間の左耳をアルミニウムを素材に巨大化した作品であり、普段私たちが目にしているそれとはまったく異なる趣を持っている。錯視を利用した作品を制作し続けた福田繁雄の《鏡に映ったミロのヴィナス 凸面鏡に映ったミロのヴィナス》は、美しいとされているミロのヴィナスが凸面鏡に映され、ゆがんだ状態でもそこに美が宿ってるかどうかを問いかけている。
担 当	竹口浩司、清水和音		
入場者数	15,145人		

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
1	井上武吉 <p>Bukichi Inoue</p>	溢れる No.2—へそ <p><i>Full No.2—Navel</i></p>	1978	ブロンズ <p>28×39×37,5</p>
2	福田繁雄 <p>Shigeo Fukuda</p>	鏡に映ったミロのヴィナス 凸面鏡に映ったミロのヴィナス <p><i>Venus of Milo in the Mirror Venus of Milo in the Convex Mirror</i></p>	1984	FRP、硬化プラスチック <p>60×147×31,5</p>
3	福田繁雄 <p>Shigeo Fukuda</p>	ミロのヴィナスシリーズ チャップリンのヴィナス <p><i>Venus of Milo, Portrait Series Venus of Chaplin</i></p>	1984	彩色FRP、硬化プラスチック <p>60×29×31,5</p>
4	三木富雄 <p>Tomio Miki</p>	耳 <p><i>Ear</i></p>	c.1965	アルミニウム <p>44,5×25×9,5</p>
5	三木富雄 <p>Tomio Miki</p>	耳 <p><i>Ear</i></p>	1969	アルミニウム <p>30×22×8,5</p>
6	三木富雄 <p>Tomio Miki</p>	耳 <p><i>Ear</i></p>	1972	アルミニウム <p>44×28×9</p>

## 広島市江波山気象館

実施会期	2021年11月23日(火)～12月19日(日)	内 容	広島市江波山気象館では、建物が原爆の爆風を受けた被爆建物であることちなみ、原爆をテーマにした2つの作品を紹介した。芥川永《教師と子どもの碑 原型》は、平和記念公園の西南、平和大通りの緑地帯に立っている彫刻作品を制作するための原型である。「三たび原爆を許してはいけない」との強い想いを持って制作に携わったという。インゴ・ギュンターは、世界経済や環境に関する統計データを集めて、それを光る地球儀上に可視化する「ワールド・プロセッサー」シリーズを手掛けた。その一つ、核爆発に関するデータからつくられた作品を展示した。
会 場	広島市江波山気象館		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館、広島市江波山気象館		
担 当	竹口浩司、清水和音		
入場者数	2,022人		

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
1	芥川永 <p>Hisashi Akutagawa</p>	教師と子どもの碑 原型 <p><i>Model for Monument for</i></p>	1971	ブロンズ <p>45×21×17</p>
2	インゴ・ギュンター <p>Ingo Günther</p>	ワールド・プロセッサー 〔核爆発〕 <p><i>World Processor "Nuclear Explosion"</i></p>	1996	地球儀、スタンド、ランプ、電気コード <p>146×30×30</p>

# 広島市郷土資料館

Hiroshima City Museum of History and Traditional Crafts

実施会期 2021年11月30日(火)～12月26日(日) 内 容 人々の暮らしにかかわる歴史をテーマとしている広島市郷土資料館では、当館のコレクションから衣食住の暮らしにちなむ3つの作品を選び、展示した。「衣」の三宅一生《フライングソーサー》は、一枚の布に独自のブリーツ加工を施すことで、未来的な貫頭衣とも形容できる斬新な衣服を実現している。「食」の齋嘔《レインボー・ディナー・セット》は椅子、テーブル、皿、カトラリーなど、食事をする人が触れるもの全てが虹色に染められている。いわゆる「ガラケー」に水玉模様が施された「住」の作品として展示したのが、草間彌生《ドッツ・オブセッション 水玉で幸福いっぱい》である。

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
1	齋嘔 Ay-O	レインボー・ディナー・セット <i>Rainbow Dinner Set</i>	1966-68	ミクストメディア 104×150×85
2	草間彌生 Yayoi Kusama	ドッツ・オブセッション、水玉で幸福いっぱい <i>Dots Obsession, Full Happiness with Dots</i>	2009	携帯電話、ケース、レンズ、鏡 14.5×14×14.5
3	三宅一生 Issey Miyake	フライング・ソーサー <i>Flying Saucer</i>	1993/94	ブリーツ加工、立体プレス加工・ポリエステル 14.5×48×38

## 関連記事「どこかで?ゲンビ コレクション編」

### ●新聞

「大規模改修の広島市現代美術館 新館長・寺口さんに聞く」、中国新聞、5月15日、10面、福田彩乃  
「情報交差点／展示」、中国新聞、10月23日、16面  
「ゲンビとの遭遇楽しんで」、読売新聞、10月24日、33面  
「独創的 アートな乗り物」、中国新聞、10月26日、23面、阪本茉莉  
「イベントナビ」、朝日新聞、11月20日、24面  
「緑地帯 ゲンビとわたし①」、中国新聞、3月15日、11面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし②」、中国新聞、3月16日、11面、野中明  
「変わるゲンビ 変わらぬ使命」、朝日新聞、3月17日、24面、大野晴香  
「緑地帯 ゲンビとわたし③」、中国新聞、3月17日、13面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし④」、中国新聞、3月18日、11面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし⑤」、中国新聞、3月19日、11面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし⑥」、中国新聞、3月22日、9面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし⑦」、中国新聞、3月23日、16面、野中明  
「緑地帯 ゲンビとわたし⑧」、中国新聞、3月24日、11面、野中明

### ●定期刊物物(その他)

「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、9/15号、8面  
「秋のイベント」、ひろしま市民と市政、秋号、4面  
「イベント」[「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、4、10ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

### ●ウェブサイト

「広島城二の丸に現代アート 長期休館中のゲンビがサテライト展示で」、広島経済新聞、11月9日  
「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子

# 広島県立美術館・広島市現代美術館合同企画 ケンビとゲンビの作品を並べたら、 美術についての疑問が解ける(かも)展

Joint Project of the Hiroshima Prefectural Art Museum and Hiroshima City Museum of Contemporary Art  
Exhibit Featuring Pieces from HPAM and HMOCA That Will (Maybe) Answer Your Art Questions



実施会期 2022年10月29日(土)～2023年1月22日(日)  
会場 広島県立美術館  
観覧料 一般510(410)円、大学生310(250)円、高校生以下無料  
\*( )内は20名以上の団体料金  
主催 広島市現代美術館、広島県立美術館  
担当 松岡剛、小野佳奈  
入場者数 10,324人

内 容 広島県立美術館が実施している所蔵作品展の特別版として、広島市現代美術館と広島県立美術館の両館のコレクションを活用した合同展を開催した。近代の作品を主とする県立美術館と、現代美術を扱う現代美術館の作品を調和、あるいは対比させる形で展示することによって、「近代美術と現代美術の違い」や「抽象と具象の違い」といった、一般に美術に対して漠然と抱かれているさまざまな疑問に答える構成とした。両館のコレクションを組み合わせ、補完し合うことによるテーマの深化や、切り口の多様化の可能性を試み、それにより、近代美術と現代美術に対する理解を深め、より美術を楽しめる視点の提案を試みた。

## 関連事業

1 両館長座談会「ケンビ+ゲンビよもやま話」  
日時 11月3日(木・祝) 13:30～15:00  
会場 広島県立美術館地階講堂  
講師 千足伸行(広島県立美術館館長)、寺口淳治

2 ケンビ+ゲンビ合同による 疑問が解ける(かも)リレートーク  
日時 [前編] 11月18日(金)14:00～ [後編] 12月9日(金)14:00～  
会場 広島県立美術館展示室  
講師 [前編] 角田新(広島県立美術館主任学芸員)、藤崎綾(広島県立美術館主任学芸員)、山下寿水(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛 [後編] 岡地智子(広島県立美術館主任学芸員)、神内有理(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛

3 ゲンビの『ツールボックス』を使ってみたら、楽しい工作ができる(かも)ワークショップ  
日時 11月5日(土)10:00～16:00  
場所 広島県立美術館エントランス  
※詳細は2m26「ツールボックス・プロジェクト」(32ページ)を参照

4 「ケンビとゲンビの作品を両方見てみたら、発見がある(かも)合同対話型鑑賞」  
日時 11月27日(土)14:00～、1月14日(土)14:00～  
会場 広島県立美術館展示室  
講師 森万由子(広島県立美術館学芸員)、小野佳奈

5 「ケンビ+ゲンビ合同による 疑問が解ける(かも)インスタライブ」  
日時 11月8日(火)17:00～、11月29日(火)17:00～、12月20日(火)17:00～、1月10日(火)17:00～  
出演 [11月8日]山下寿水(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛 [11月29日]角田新(広島県立美術館主任学芸員)、藤崎綾(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛 [12月20日]神内有理(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛 [1月10日]岡地智子(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛

6 「担当学芸員たちによる公開反省(?)会+今後の展覧を語る(かも)会」  
日時 1月21日(土)13:30～15:00  
会場 広島県立美術館ロビー  
講師 岡地智子(広島県立美術館主任学芸員)、角田新(広島県立美術館主任学芸員)、神内有理(広島県立美術館主任学芸員)、藤崎綾(広島県立美術館主任学芸員)、森万由子(広島県立美術館学芸員)、山下寿水(広島県立美術館主任学芸員)、松岡剛、小野佳奈

## 関連展示

フェルナンド・ボテロ《小さな鳥》  
会期:7月9日(土)～1月22日(日)  
場所:広島県立美術館1階エントランス

### 関連記事

●**新聞**  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、11月3日、8面  
「平和と美 若者が創作劇・演奏 美術館長コラボ対談」、中国新聞、11月4日、19面、石井雄一  
「合同展 2館長が対談」、読売新聞、11月4日、25面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月5日、12面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、11月10日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月12日、14面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、11月17日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月19日、12面  
「情報交差点／ミュージアム」中国新聞、11月26日、15面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月1日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月3日、20面  
「作品比べて新発見」、中国新聞、12月8日、11面、福田彩乃  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月8日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月10日、14面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月15日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月17日、17面  
「共通点、違い感じて」、山陽新聞、12月19日、20面、平田亜沙美  
「ケンピとゲンピで美術の謎解き 初の合同展」、朝日新聞、12月21日、23面、石井暖子  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月22日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月24日、14面  
「毛ばたきで丁寧 展示物すす払い」、毎日新聞、12月25日、21面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月29日、8面  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、1月5日、8面  
「分類、技法…美術を考察?! 県美と現美 所蔵品を対比表示」、毎日新聞、1月6日、宇城昇  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、1月12日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、1月14日、15面

### 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
1	平樹田中 Denchu Hirakushi	西山道遥 <i>Strolling Seizan</i>	1964	木、彩色 高62.5	広島県立美術館蔵
2	小林千古 Senko Kobayashi	やし(静物) <i>Coconuts (Still Life)</i>	1893	油彩・キャンパス 34.0×44.0	広島県立美術館蔵
3	南 薫造 Kunzo Minami	石割り <i>Stone Cutters</i>	1911	油彩・キャンパス 60.5×45.5	広島県立美術館蔵
4	鏡光 Ai-Mitsu	花 <i>Flowers</i>	c.1941	油彩・キャンパス 23.6×32.8	広島県立美術館蔵
5	児玉希望 Kibo Kodama	黎明 <i>Daybreak</i>	1934	絹本彩色 191.0×178.0	広島県立美術館蔵
6	奥田元宋 Genso Okuda	寂 <i>Desolation</i>	1984	紙本彩色 175.5×211.0	広島県立美術館蔵
7	平山郁夫 Ikuo Hirayama	波斯黄堂旧址 <i>Ruins of Persia</i>	1974	紙本彩色 166.7×367.4	広島県立美術館蔵
8	圓鈔勝三 Katsuzo Entsuba	途上 <i>On the Way</i>	1941(1994年鋳造)	ブロンズ 169.0×82.0×51.5	広島県立美術館蔵
9	清水南山 Nanzan Shimizu	獅子図手板 <i>Plaque with Design of Shi-shi (Lion)</i>	1943	銀・銅・赤銅・彫金 21.3×30.1	広島県立美術館蔵
10	今井政之 Masayuki Imai	「禅鮫」壺 <i>Vase with Inlaid Design of "Zennen (Catfish of Zen)"</i>	1977	陶器 高45.0×胴径39.5	広島県立美術館蔵
●第1の? 近代美術と現代美術はどう違うの?					
11	サルバドール・ダリ Salvador Dali	ヴァーナスの夢 <i>Dream of Venus</i>	1939	油彩・画布・パネル 243.8×487.6	広島県立美術館蔵
12	森村泰昌 Yasumasa Morimura	肖像(双子) <i>Portrait (Futago)</i>	1988-1990	カラー写真プリント・透明メディアム 240.0×343.0	広島市現代美術館蔵
13	福田繁雄 Shigeo Fukuda	ミロのヴァイナス・ポトレート・シリーズゴッホのヴァイナス <i>Venus of Gogh, Venus of Milo,Portrait Series</i>	1984	彩色・FRP・硬化プラスチック 60,0×29,0×31,5	広島市現代美術館蔵

「ケンピとゲンピの違いに「わくわく」 入場者1万人超える」、毎日新聞、1月19日、矢道健介  
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞セレクト、1月19日、8面  
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、1月21日、10面

### ●定期刊行物(雑誌)

「ART」、山口県タウン情報トライアングル、11月号、60ページ  
「ART」、Wink広島、11月号、101ページ  
「ART」、くれえばん、11月号、74ページ  
「Schedule Museum」、ギャラリー、11月号、169ページ  
「ART」、山口県タウン情報トライアングル、12月号、56ページ  
「ART」、Wink広島、12月号、101ページ  
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、12月号、265ページ  
「情報掲示板」、ウェンディ広島、12月号、16ページ  
「Schedule Museum」、ギャラリー、12月号、169ページ  
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、1月号、173ページ  
「ART」、山口県タウン情報トライアングル、1月号、56ページ  
「ART」、Wink広島、1月号、101ページ  
「Schedule Museum」、ギャラリー、1月号、169ページ  
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、2月号、181ページ

### ●定期刊行物(その他)

「表紙」「美術館スケジュール」他、色絵馬(県美会報誌)、10月号、2-3、7-8ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ  
「文化イベント」「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、5、10ページ  
「今月の情報」地域創造レター、11月号、11ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、12月号、10ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、1月号、10ページ  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

### 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
14	福田繁雄 Shigeo Fukuda	ミロのヴァイナス・ポトレート・シリーズボッティチェリリのヴァイナス <i>Venus of Botticelli, Venus of Milo,Portrait Series</i>	1984	彩色・FRP・硬化プラスチック 60,0×29,0×31,5	広島市現代美術館蔵
15	マン・レイ Man Ray	ローズ・セラヴィ(マルセル・デュシャン) <i>Rose Sélavy (Marcel Duchamp)</i>	1921	ゼラチン・シルバー・プリント 32.4×24.6	広島県立美術館蔵
16	マン・レイ Man Ray	チェスをするマルセル・デュシャンとラウル・ド・ルシー <i>Marcel Duchamp Playing Chess with Raoul de Roussy</i>	1924	ゼラチン・シルバー・プリント 22.3×23.5	広島県立美術館蔵
17	マン・レイ Man Ray	剃髪 <i>Tonsure</i>	1921	ゼラチン・シルバー・プリント 30.2×24.1	広島県立美術館蔵
18	マン・レイ Man Ray	埃の培養 <i>Dust Breeding</i>	1920	ゼラチン・シルバー・プリント 21.1×37.5	広島県立美術館蔵
19	ウーゴ・ムラス Ugo Mulas	マルセル・デュシャン 1 <i>Marcel Duchamp 1</i>	1965	ゼラチン・シルバー・プリント 36.8×25.4	広島市現代美術館蔵
20	ウーゴ・ムラス Ugo Mulas	マルセル・デュシャン 7 <i>Marcel Duchamp 7</i>	1965	ゼラチン・シルバー・プリント 36.8×24.8	広島市現代美術館蔵
21	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / マルセル・デュシャンとしての私 [ジュリアン・ワッサー氏撮影のイメージに基づく]) <i>A Requiem: Theater of Creativity / Self-portrait as Marcel Duchamp Based on the Photo by Julian Wasser</i>	2007	発色現像方式印画 150,0×187,5	広島市現代美術館蔵
22	フランシス・ピカビア Francis Picabia	アンピトリテ <i>Amphitrite</i>	c.1935	油彩・画布 92.0×73.5	広島県立美術館蔵
23	松江泰治 Taiji Matsue	JP-34 02 <i>JP-34 02</i>	2015	発色現像方式印画 50,6×61,0	広島市現代美術館蔵
24	松江泰治 Taiji Matsue	JP-34 06 <i>JP-34 06</i>	2015	発色現像方式印画 50,6×61,0	広島市現代美術館蔵
25	アレクサンダー・コールドー Alexander Calder	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム <i>Vertical White Frame</i>	1936	金属・ワイヤー・パネ・木 高265,4	広島県立美術館蔵
26	アレクサンダー・カルダー Alexander Calder	遭遇 <i>Encounter</i>	1965	彩色・金属板 137,0×391,0×140,0	広島市現代美術館蔵
27	アレクサンダー・カーノルト Alexander Kanoldt	静物 <i>Still Life</i>	1925	油彩・画布 80,0×101,0	広島県立美術館蔵
28	高橋 秀 Shu Takahashi	静物 <i>Still Life</i>	1957	油彩・画布 116,8×72,9	広島市現代美術館蔵
29	録唾 Ay-O	レインボー・ディナー・セット <i>Rainbow Dinner Set</i>	1966-68	ミクストメディア 104,0×150,0×85,0	広島市現代美術館蔵
30	録唾 Ay-O	8:15AM <i>8:15AM</i>	1988	ミクストメディア・画布 (左)169,0×141,4×19,0 (右)167,5×136,0×15,0	広島市現代美術館蔵
31	イサム・ノグチ Isamu Noguchi	追想 <i>Remembrance</i>	1944(1983-84鋳造)	ブロンズ 125,7×62,2×22,8	広島県立美術館蔵
32	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(宙の夢 / アルベルト2_) <i>A Requiem: Dream of Universe /ALBERT 2</i>	2007	ゼラチン・シルバー・プリント 120,0×96,0	広島市現代美術館蔵
33	イヴ・クライン Yves Klein	人体測定170 <i>Anthropometry 170 (ANT 170)</i>	1960	藤料・画布に裏打ちされた紙 167,0×123,4	広島市現代美術館蔵
34	横尾忠則 Tadanori Yokoo	芸術と平和 <i>Art and Peace</i>	2006	油彩・画布 182,0×227,0	広島市現代美術館蔵
●第2の? 具象・抽象って何?					
35	ジョージ・シーガル George Segal	白い籐椅子の女 <i>Woman in White Wicker Chair</i>	1982	石膏・藤 114,3×94,0×132,0	広島市現代美術館蔵
36	鏡光 Ai-Mitsu	コミサ(洋傘による少女) <i>Komisa, a Girl Leaning on an Umbrella</i>	1929	油彩・画布 80,0×65,0	広島県立美術館蔵
37	井上 完 Kan Inoue	母と娘 <i>Mother and Her Daughter</i>	1920	油彩・画布 130,0×97,0	広島県立美術館蔵
38	塚本張夫 Haruo Tsukamoto	ロシアの少女(マガ嬢) <i>Russian Girl</i>	1936	油彩・画布 130,3×193,9	広島県立美術館蔵
39	岡田謙三 Kenzo Okada	北市場 <i>North Market of Shenyang, China</i>	1942	油彩・画布 104,2×87,0	広島県立美術館蔵
40	東郷青児 Seiji Togo	テラス <i>Terrace</i>	1935	油彩・画布 100,0×72,7	広島県立美術館蔵
41	黒田重太郎 Jutaro Kuroda	風景 <i>Landscape</i>	c.1921-23	油彩・画布 37,9×45,5	広島県立美術館蔵
42	芥川 永 Hisashi Akutagawa	もどれない風(太田川2_) (石膏原型) <i>Wind being unable to Return(Ota River 2) (Plaster Original)</i>	1974	石膏 36,0×42,0×10,4	広島県立美術館蔵

出品目録

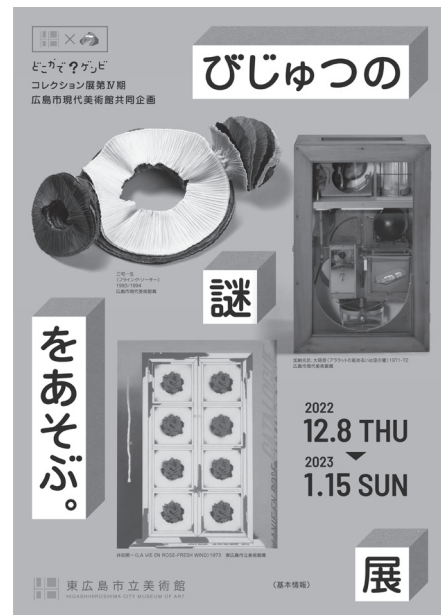
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
43	芥川 永 Hisashi Akutagawa	もどれない風(太田川2) <i>Wind being unable to Return(Ota River 2)</i>	1974	ブロンズ 34,0×42,0×11,0	広島県立美術館蔵
44	ウィレム・デクーンニング Willem de Kooning	風景の中の女 VI <i>Woman in Landscape VI</i>	1968	油彩・画布に裏打ちされた紙 61,0×48,0	広島市現代美術館蔵
45	名井萬亀 Maki Nai	爆発 <i>Explosion</i>	1950	油彩・画布 53,5×41,4	広島県立美術館蔵
46	名井萬亀 Maki Nai	ビキニの灰 <i>Ash of Bikini</i>	1954	油彩・画布 60,9×40,9	広島市現代美術館蔵
47	香月泰男 Yasuo Kazuki	青年 <i>Youth</i>	1954	油彩・画布 73,2×145,5	広島市現代美術館蔵
48	入野忠芳 Tadayoshi Irino	浮遊 <i>Floating</i>	1970	油彩・画布 117,0×90,9	広島県立美術館蔵
49	鶴岡政男 Masao Tsuruoka	帰りみち <i>Way Home</i>	1976	油彩・画布 80,3×100,0	広島県立美術館蔵
50	岡部繁夫 Shigeo Okabe	静物(B) <i>Still Life (B)</i>	1956	油彩・画布 91,0×65,0	広島市現代美術館蔵
51	川口軌外 Kigai Kawaguchi	群像 <i>Group</i>	1956	油彩・画布 116,0× 79,5	広島県立美術館蔵
52	錢嘸 Ay-O	レインボー・マン・アンド・ウーマン ピース・サイン <i>Rainbow Man and Woman: Peace Sign</i>	2008	アクリル・画布 162,2×130,3	広島市現代美術館蔵
53	菅井 汲 Kumi Sugai	TAMBOUR(鼓手) <i>Tambour</i>	1993	アクリル・画布 200,0×200,0	広島県立美術館蔵
54	飯田善國 Yoshikuni Iida	Hito <i>Human Figure</i>	1967	真鍮 75,1×34,3×32,0	広島市現代美術館蔵
55	飯田善國 Yoshikuni Iida	Hito <i>Human Figure</i>	1967	木 84,3×31,4×14,7	広島市現代美術館蔵
56	峯田敏郎 Toshiro Mineta	記念撮影—遠い日の風音・私の母と <i>Commemorative Photo -Sound of Long-ago Breeze with My Mother -</i>	2011	木(樟・紅松)・真鍮・彩色 200,0×145,0×115,0	広島県立美術館蔵
57	アレックス・カツツ Alex Katz	12月 <i>December</i>	1979	油彩・画布 335,8×274,8	広島市現代美術館蔵
●第3の? 理想を描く?現実を描く?					
58	名草逸峰 Ippo Nagusa	高士観瀑図 <i>Sage Looking at WaterFall</i>	1884	絹本彩色 186,0×86,0	広島県立美術館蔵
59	川端玉章 Gyokusho Kawabata	山水人物図 <i>Mountain-and-Stream with Person</i>	1908	紙本墨画淡彩 167,0×104,0	広島県立美術館蔵
60	会田誠 Makoto Aida	人(hito : human being)PROJECT <i>HITO(ho-tohuman being)PROJECT</i>	2002	アクリル・画布・インクジェットプリント・紙 (右)197,0×89,0(中央)197,0×259,0 (左)197,0×89,0	広島市現代美術館蔵
61	リチャード・ロング Richard Long	試金石 嵐を避ける アイランドで5日間歩く 1982年夏 <i>Touchstone Shelter from the storm A Five Day walk in Iceland summer1982</i>	1982	写真・テキスト 各85,5×121,5(4点組)	広島市現代美術館蔵
62	田中頼璋 Raisho Tanaka	高士訪友図 <i>Sage Visiting His Friends</i>	1914頃 c.1914	絹本彩色 241,0×142,0	広島県立美術館蔵
63	日高理恵子 Rieko Hidaka	空との距離I <i>Distance from the sky I</i>	2002	岩絵の具・紙(麻紙) 240,0×240,0	広島市現代美術館蔵
64	船田玉樹 Gyokujū Funada	日輪 <i>The Sun</i>	1940	紙本彩色 各181,0×181,0	広島県立美術館蔵
65	須田悦弘 Yoshihiro Suda	チューリップ <i>Tulip</i>	2006	彩色・木 45,5×15,5×20,0	広島市現代美術館蔵
66	野見山暁治 Gyoji Nomiya	太田川 <i>Otagawa River</i>	1988	油彩・画布 162,5×194,6	広島市現代美術館蔵
67	宮川啓五 Keigo Miyagawa	太田川 <i>Otagawa River</i>	2000	紙本彩色 92,4×733,4	広島県立美術館蔵
68	山本正道 Masamichi Yamamoto	時を眺めて <i>Gazing at the Time</i>	1997	ブロンズ・木に蒔彩 24,0×381,0×51,5	広島市現代美術館蔵
69	丸木位里 Iri Maruki	竹林 <i>Bamboo Grove</i>	1964	紙本墨画 各210,0×270,0	広島県立美術館蔵
70	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワー・ガーデン <i>FLOWER GARDEN</i>	2004	油彩・画布 (左右)227,0×222,0(中央)227,0×111,0	広島市現代美術館蔵 (中央:個人蔵広島市現代美術館寄託)
●第4の? 美と術って何?					
71		備前曲物花入 <i>Flower Vase, Bizen Ware</i>	桃山時代 Momoyama era	陶器 高27,2	広島県立美術館蔵

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
72	藤原 啓 Kei Fujiwara	備前花入 <i>Flower Vase, Bizen Ware</i>	1977	陶器 高23,6 径10,5	広島県立美術館蔵
73	金重陶陽 Toyo Kaneshige	備前耳付水指 <i>Water Container with Two Ears,Bizen Ware</i>		陶器 高21,8 径21,9	広島県立美術館蔵
74	山本陶秀 Tosyu Yamamoto	備前耳付花入 <i>Flower Vase with Two Ears,Bizen Ware</i>	1978	陶器 高26,4 径12,5	広島県立美術館蔵
75	藤原 雄 Yu Fujiwara	備前播座大壺 <i>Jar, Bizen Ware</i>	1987	陶器 径37,0	広島県立美術館蔵
76	藤原 雄 Yu Fujiwara	備前播座大壺 <i>Jar, Bizen Ware</i>	1991	陶器 高33,7 径37,1	広島県立美術館蔵
77	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	ジュピター 1 <i>JUPITER 1</i>	c.1985	焼き固めたプラスチック類 118,0×95,0×67,0	広島市現代美術館蔵
78	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	(不詳) <i>Unknown</i>		シルクスクリーン・紙 62,0×54,5	広島市現代美術館蔵
79	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	(不詳) <i>Unknown</i>		シルクスクリーン・紙 62,0×54,5	広島市現代美術館蔵
80	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	(不詳) <i>Unknown</i>		シルクスクリーン・紙 62,0×54,5	広島市現代美術館蔵
81	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	(不詳) <i>Unknown</i>		シルクスクリーン・紙 62,0×54,5	広島市現代美術館蔵
82	殿敷 侃 Tadashi Tonoshiki	(不詳) <i>Unknown</i>		シルクスクリーン・紙 62,0×54,5	広島市現代美術館蔵
83	八木一夫 Kazuo Yagi	右の目と左の目の情報 <i>Information of Right Eye and Left Eye</i>	1968	黒陶 高21,3 23,5×15,0	広島県立美術館蔵
84	八木一夫 Kazuo Yagi	表裏なし <i>Without Inside and Outside</i>	1978	黒陶・鉛板 高35,5 25,5×6,6	広島県立美術館蔵
85	十五代樂吉左衛門 Kichizaemon Raku, the 15th	茶碗 <i>Tea Bowl</i>	1992	陶器 高11,0 径13,1	広島県立美術館蔵
86	梶山明細 Meisai Kajiyama	蒔絵やつで香篋 <i>Lacquer Box with Design of Fatsiajaponica in Makie</i>	江戸時代末期～明治時代 Late Edo era - Meiji era	漆・蒔絵 高11,1 12,2×15,9	広島県立美術館蔵
87	川之辺一朝 Icho Kawanobe	金梨地瀧山水蒔絵料紙文庫 <i>Lacquer Box with Landscape Design in Makie</i>	1902	木・漆・蒔絵 高15,4 44,9×33,1	広島県立美術館蔵
88	迎田秋悦 Shuetsu Koda	平野の松歌蒔絵料紙文庫 <i>Lacquer Paper Box with Design from a Japanese Poem "Hirano-no-Matsu" in Makie</i>	1921	木・漆・蒔絵・平文 高14,3 41,2×34,5	広島県立美術館蔵
89	赤瀬川原平 Genpei Akasegawa	大日本零円札 <i>Greater Japan Zero-Yen Notes</i>	1967	印刷物 14,4×30,8	広島市現代美術館蔵
90	佐藤正明・聖美 Masaki & Masami Sato	N.S. No.66-3D <i>N.S. No.66-3D</i>	1998	ミクストメディア 18,5×17,5	広島市現代美術館蔵
91	赤塚自得 Jitoku Akatsuka	金地蝶牡丹唐蒔絵文庫 <i>Lacquer Box with Design of Peony,Butterfly and Vine Scroll on Golden Ground in Makie</i>		木・漆・蒔絵・螺鈿 高17,0 29,0×23,0	広島県立美術館蔵
92	赤塚自得 Jitoku Akatsuka	金梨地唐草牡丹蒔絵香盆 <i>Lacquer Tray with Design of Peonyand Vine Scroll on Golden Ground in Makie</i>		木・漆・蒔絵 径45,0	広島県立美術館蔵
93	草間彌生 Yayoi Kusama	ドット・オブセッション、水玉で幸福いっぱい <i>Dots Obsession, Full Happiness with Dots</i>	2009	携帯電話・ケース・レンズ・鏡 14,5×14,0×14,5	広島市現代美術館蔵
94	草間彌生 Yayoi Kusama	宇宙に行くときのハンドバック <i>Hand Bag for Space Travel</i>	2009	携帯電話・ストラップ 5,5×10,8×2,0	広島市現代美術館蔵
95		重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式) <i>Foliage Bowl with Floral Design in Kakiemon-style(Important Cultural Property)</i>	17世紀後半 2nd half 17th century	磁器・色絵 高11,5 径24,4	広島県立美術館蔵
96		伊万里柿右衛門様式色絵馬 <i>Figure of Horse in Kakiemon-style,Overglaze Enamels</i>	17世紀後半 2nd half 17th century	磁器・色絵 高44,3	広島県立美術館蔵
97		伊万里柿右衛門様式色絵馬 <i>Figure of Horse in Kakiemon-style,Overglaze Enamels</i>	17世紀後半 2nd half 17th century	磁器・色絵 高45,0	広島県立美術館蔵
98	草間彌生 Yayoi Kusama	私の犬のリンリン <i>My Doggie Ring-Ring</i>	2009	携帯電話台座 20,0×27,0×8,0	広島市現代美術館蔵
99	三輪龍氣生 Ryukisho Miwa	続・卑弥呼の書 No.5 <i>A Sequel to the Scripture of Himiko, No.5</i>	1992	陶 高96,0 210,0×69,0	広島県立美術館蔵
100	横尾忠則 Tadanori Yokoo	天の岩戸 <i>Cave of Heaven</i>	1985	油彩・鍍・画布 259,0×388,0	広島市現代美術館蔵
101	熊倉順吉 Jyunkichi Kumakura	曲面のレコード・ラック <i>Carved Record Rack</i>	1981	陶 高39,0 27,5×11,0	広島県立美術館蔵
102	三木富雄 Tomio Miki	耳 <i>Ear</i>	1965	アルミニウム 44,5×25,0×9,5	広島市現代美術館蔵

# 東広島市立美術館・広島市現代美術館合同企画 びじゅつの謎をあそぶ。展

Joint Project of the Higashihiroshima City Museum of Art and Hiroshima City Museum of Contemporary Art  
Playing with the Wonders of Art



実施会期 2022年12月8日(木)～2023年1月15日(日)  
会 場 東広島市立美術館  
観 覧 料 一般300円、大学生200円、高校生以下無料  
主 催 広島市現代美術館、東広島市立美術館  
担 当 竹口浩司、笹野摩耶  
入場者数 888人

内 容 休館中のコレクション・サテライト展示として実施している「どこかで?ゲンビ」の一環として東広島市立美術館を会場に、両館のコレクションをあわせて展示した。  
「びじゅつの謎をあそぶ。展」と題した本展において、現代美術の「分かなさ」を積極的にたのしめるように、鑑賞の幅を広げる展示を心掛けた。両館のコレクションを、同一作家の異なるメディアによる作品を並べたり、同一モチーフの異なる作家による作品を対比したり、衣食住のテーマに沿って作品を見せるなどしながら、随所に見立てやなぞなぞを採り入れた親しみやすい作品解説とともに紹介した。

## 関連事業

1 おやこでお話し鑑賞会—びじゅつで感性を育む。  
日時 2022年12月18日(日曜日)10:00～12:00  
講師 土居和子(臨床心理士 ココロモニ代表)、両館担当学芸員  
会場 東広島市立美術館(2階展示室)  
定員 5組  
対象 4歳～小学生

2 夕暮れギャラリートーク  
日時 2022年12月23日(金曜日)18:00～18:45  
講師 両館担当学芸員  
会場 東広島市立美術館(2階展示室)

## 関連記事

●新聞  
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、12月10日、14面  
「遊び心で迫るアート」、中国新聞、12月14日、21面、岡本圭紀  
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月15日、8面  
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、12月17日、17面  
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月22日、8面  
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、12月24日、14面  
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞セレクト、12月29日、8面  
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞セレクト、1月5日、8面  
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞セレクト、1月12日、8面

●定期刊行物(雑誌)  
「ART」、Wink広島、12月号、101ページ  
「ART」、くれえばん、12月号、72ページ  
「Schedule Museum」、ギャラリー、12月号、169ページ  
「Schedule Museum」、ギャラリー、1月号、169ページ

●定期刊行物(その他)  
「展覧会(美術)」、博物館研究、12月号、38ページ  
「展覧会(美術)」、博物館研究、1月号、34ページ  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
●第1章「びじゅつのふしぎ?くらべてあそぶ。」					
1	マルセル・デュシャン Marcel Duchamp	フレッシュ・ウィドウ Fresh Widow	1920(1964再制作)	木、ガラス 79×54,1×10,8	広島市現代美術館
2	井田 照一 Shoichi Iida	LA VIE EN ROSE-FRESH WIND LA VIE EN ROSE-FRESH WIND	1973	リトグラフ・紙 72,5×55,7	東広島市立美術館
3	李 禹煥 Lee U-fan	項C 項C	1979	木版・紙 64,5×52	東広島市立美術館
4	李 禹煥 Lee U-fan	風と共に—ヒロシマ With Winds: Hiroshima	1988	岩彩・キャンバス 227,4×181,6	広島市現代美術館
5	李 禹煥 Lee U-fan	石版画集「点より線より」	1977	リトグラフ・紙 40×54	東広島市立美術館
6	荒木 高子 Takako Araki	砂の聖書	1997	シヤモット、砂、シルクスクリーン 20×70×48	東広島市立美術館
7	荒木 高子 Takako Araki	原爆の聖書 Atomic-Bomb Bible	1984	陶 19,5×41,4×33	広島市現代美術館
8	加納 光於、大岡 信 Mitsuo Kano, Makoto Ooka	アララットの船あるいは空の蜜 Ship for Ararat—Honey for Sky	1971-72	木、金属、フィルム、ガラス他 68,3×45×22,3	広島市現代美術館
9	加納 光於 Mitsuo Kano	暁によばれてI	1991-92	カラーインタリオ・紙 61,2×50,5	東広島市立美術館
10	加納 光於 Mitsuo Kano	暁によばれてII	1991-92	カラーインタリオ・紙 61,8×45,6	東広島市立美術館
11	加納 光於 Mitsuo Kano	暁によばれてI'	1991-92	インタリオ・紙 61,2×50,5	東広島市立美術館
12	加納 光於 Mitsuo Kano	暁によばれてII'	1991-92	インタリオ・紙 61,8×45,6	東広島市立美術館
13	荒川 修作 Shusaku Arakawa	無題 Untitled	1962	石膏、真空管、ファイバークラス 213,8×29,6×18	広島市現代美術館
14	荒川 修作 Shusaku Arakawa	意味の分裂	1970-71	シルクスクリーン、リトグラフ・紙 101,5×76,1	東広島市立美術館
15	荒川 修作 Shusaku Arakawa	ウェブスター—新20世紀辞典	1965	シルクスクリーン、手彩色・紙 105,5×77	東広島市立美術館
16	草間 彌生 Yayoi Kusama	どらわれのダニー・ララー Danny La Rue (Caged)	1970	彩色された金網、油彩・キャンバス 128,9×98,9	広島市現代美術館
17	草間 彌生 Yayoi Kusama	ドレス	1982	リトグラフ・紙(ペラン・アルシュ)、コラージュ(布) 58,6×47,8	東広島市立美術館
18	草間 彌生 Yayoi Kusama	幻の野に立ちて	1979	シルクスクリーン・紙(波光紙) 43×52,2	東広島市立美術館
●第2章「びじゅつのひらめき!つもりであそぶ。」					
19	三宅 一生 Issey Miyake	フライング・ソーサー Flying Saucer	1993/1994	ブリーツ加工及び立体プレス加工・ポリエステル 14,5×48×38	広島市現代美術館
20	三宅 一生 Issey Miyake	リズム プリーツ Rhythm Pleats	1989/1994	ブリーツ加工・ポリエステル、リネン 98,5×86	広島市現代美術館
21	三宅 一生 Issey Miyake	リズム プリーツ Rhythm Pleats	1989/1994	ブリーツ加工・ポリエステル、リネン 122×92	広島市現代美術館
22	三宅 一生 Issey Miyake	リズム プリーツ Rhythm Pleats	1989/1994	ブリーツ加工・ポリエステル、リネン 125×95,5	広島市現代美術館
23	小清水 漸 Susumu Koshimizu	大歪七生唐草(ペルシャの市場にて)	1999	ミズメ材、顔料(群青、金泥)、磁器 130,5×13,5×12	東広島市立美術館
24	福田 美蘭 Miran Fukuda	ニューヨークの星 The Stars of New York	2002	アクリル・パネル 182×227,5	広島市現代美術館
25	吹田 文明 Fumiaki Fukita	美しき夜	1968	木版・紙 90×60,5	東広島市立美術館
26	吹田 文明 Fumiaki Fukita	星座シリーズ 双子座	1971	木版・紙 45×59	東広島市立美術館
27	大場 正男 Masao Ooba	星からの使者 星座シリーズ ふたご座	1989-2005	ペーパー・スクリーン・紙 20×27,5	東広島市立美術館
28	ジョアン・ミロ Joan Miró	三つの輪II	1981	リトグラフ・紙 65×89	東広島市立美術館
29	ジョアン・ミロ Joan Miró	魔術II	1981	リトグラフ・紙 64,5×92	東広島市立美術館



出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質	所蔵 / 備考
30	ジョアン・ミロ Joan Miró	小ざりに乗った恋人たちII	1981	リトグラフ・紙 60,5×88	東広島市立美術館
31	ジョアン・ミロ Joan Miró	痴話げんかII	1981	リトグラフ・紙 91,5×64,5	東広島市立美術館
32	アンソニー・カロ Anthony Caro	ウォーター・ストリート・スターター Water Street Starter	1980	ブロンズ 54×67×39,5	広島市現代美術館
33-1	岡崎 乾二郎	枝の振動が伝わり、幹の裂ける音が聞こえ、木と木の間を軽々と、煙と炎が進んできたとしても、植物に逃げる足はなく、微塵のように灰が降っても、防ぐ手だてもありません。きっと肚にすえかねることだであるでしょう。ために聴診器を幹にあててみれば、ごとごと、ごうごう空おそろしい騒音が響いている。森全体が怒っている。正直な気持ち。	2004	アクリル・キャンバス 200×144,5	広島市現代美術館
33-2	岡崎 乾二郎	木という木がいま、自分の語に耳を傾けているような錯覚がします。ひとたび地表に根をおろせば、植物は一生、住む土地を変えられないから、もっと安全な場所を見つけようなんて考えも浮かばないのです。だから羊歯の大きな葉と葉が揺れ、その間から物音が聞こえてきたとき、みんなも草の中に身をすくませたのです。木が生きている、その通りに。	2004	アクリル・キャンバス 200×144,5	広島市現代美術館

# どこかで?ゲンビ ビデオアート編

[鶴見分室101]

Dokokade? Genbi:  
Video art

[Tsurumi Annex 101]

## 毒山凡太郎

実施会期	2021年7月13日(火)～8月21日(土)	内 容	改修事中による休館中の活動拠点として、21年6月にゲンビ鶴見分室101をオープン。101での活動第1弾として、現代社会に潜む問題や事象を丁寧に調査し、映像インスタレーション作品を制作する毒山凡太郎を紹介。沖縄で、「日本」に対する意識の違いを感じたことが契機となって制作された《戦争は終わりました》、日本統治時代の台湾で日本の教育を受けた世代の人々に、当時は振り返り記憶を語ってもらうだけでなく、まだ覚えている日本語の歌を歌ってもらう《君之代》、いずれも当事者たちの複雑な感情と曖昧な記憶とが交錯する、「戦争」をテーマに制作された2点を上映した。
当初予定	2021年6月10日(木)～7月3日(土)		
会 場	鶴見分室101		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館		
担 当	角奈緒子		
入場者数	60人		

関連プログラム
上映会&アーティストトーク <p>日時　11月28日(日)</p> 12:00～14:00過去作品の上映、14:00～16:00トーク、16:00～17:00過去作品の上映 <p>当初予定　2021年6月13日(日)14:00～16:00</p> 会場　Alternative Space Core <p>入場者数　16人</p>

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	映像 / 上映時間
1	毒山凡太郎 <p>Bontaro Dokuyama</p>	戦争は終わりました <p><i>War is Over</i></p>	2017	カラー、サウンド <p>5分13秒</p>
2	毒山凡太郎 <p>Bontaro Dokuyama</p>	君が代 <p><i>Time goes by</i></p>	2017	カラー、サウンド <p>24分58秒</p>

## 原田裕規

実施会期	2022年3月29日(火)～4月16日(土)	内 容	「どこかで?ゲンビ　ビデオアート編」第2弾(当初予定)として原田裕規を紹介。広島市現代美術館が所蔵する《One Million Seeings》の展示を行った。本作では、作家自身が無数の写真を延々と、ひとつひとつ手に取り、眺める様子がとらえられている。これらの写真の多くは、いわゆる家族写真や記念写真で、多くの名もなき人々によって撮影、所有された後、手放されたものである。その行為は24時間、休みなく続けられており、私たちが日常的に親しむ行為としての写真、そのイメージの持つ意味について問いかけるものであった。会期最終日には、作家とともに24時間のフルバージョンを鑑賞する機会を設け、その時間と体感の追体験を促した。
当初予定	2021年9月14日(火)～9月26日(土)		
会 場	鶴見分室101		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館		
担 当	松岡剛		
入場者数	240人		

関連プログラム
24時間上映 <p>日時　4月16日(土)10:30～4月17日(日)10:30</p> 会場　鶴見分室101

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	映像 / 上映時間
1	原田裕規 <p>Yuki Harada</p>	One Million Seeings <p><i>One Million Seeings</i></p>	2019	2チャンネル、カラー、サウンド <p>約24時間</p>

## 飯川雄大

実施会期	2021年11月2日(火)～11月13日(土)	内 容	「どこかで?ゲンビ　ビデオアート編」第3弾として飯川雄大を紹介。広島市現代美術館が所蔵する2つの映像による構成とした。これまでインスタレーションや映像で展開してきた、人と情報との関係を問いかける作家の代表的なシリーズ「デコレータークラブ」の作品、そして、サッカー試合中の控え選手達の様子を捉え、ゲームのなかに存在する注目や重要性の不均衡をあぶりだす《ネクストファイヤー》。私たちの周りにある情報が全体の一部でしかないこと、人の認識が不確かであることをユーモラスに描き出す作品をとおして、日常生活の中で疑うことのなかった認識や情報について再考を促す表現を紹介した。
会 場	鶴見分室101		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館		
担 当	松岡剛		
入場者数	23人		

関連プログラム
作家による展示解説 <p>日時　11月13日(土)13:00～17:00</p> 会場　鶴見分室101

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	映像 / 上映時間
1	飯川雄大 <p>Takehiro Iikawa</p>	デコレータークラブ―衝動とその周辺にあるもの― <p><i>Decorator Crab―Impulse and Things Around Things―</i></p>	2016	カラー、サウンド <p>約15分</p>
2	飯川雄大 <p>Takehiro Iikawa</p>	ネクストファイヤー <p><i>Next Fire</i></p>	2016	カラー、サウンド <p>約6分</p>

## 田中功起

実施会期	2022年3月15日(火)～3月26日(土)	内 容	「どこかで?ゲンビ　ビデオアート編」第4弾では田中功起を紹介。田中は、異なる背景をもつ人々が共に生きることが可能か、という極めて根本的な問いを立て、予めある特殊な状況を設定し、参加者たちがそのタスク(課題)に取り組む様子を捉えた映像作品で、国際的に高く評価されている。その田中は、2000年代半ば頃までは、日用品や人々の何気ない行為に着目し、「物」を中心に巻き起こる現象や、人の介入によって生じる落ちのない顛末を捉え、映像として発表していた。物への眼差しや何気ない行為が示し得る可能性への関心から、あらゆる形態の「共生の可能性」の考察まで、アーティストの試みの変遷の一端を紹介した。
当初予定	2022年2月22日(火)～3月5日(土)		
会 場	鶴見分室101		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館		
担 当	角奈緒子		
入場者数	43人		

関連プログラム
アーティストトーク <p>日時:3月26日(土)14:00～16:00</p> オンライン配信(YouTubeLive)

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	映像 / 上映時間
1	田中功起 <p>Koki Tanaka</p>	each and every <p><i>each and every</i></p>	2003	カラー、サウンド <p>30分</p>
2	田中功起 <p>Koki Tanaka</p>	everything is everything <p><i>everything is everything</i></p>	2005-06	シングルチャンネルヴァージョン、カラー、サウンド <p>6分5秒</p>
3	田中功起 <p>Koki Tanaka</p>	ディスカッシング・アンノウン(彼の未来の作品) <p><i>Discussing Unknown (His Future Work)</i></p>	2012	カラー、サウンド、ポスター <p>49分</p>

# 小森はるか+瀬尾夏美

Haruka Komori+Natsumi Seo

実施会期 2022年9月13日(火)～12月17日(土) 内 容 映像作家の小森はるか(1989-)と絵や文章をつくる瀬尾夏美(1988-)は、東日本大震災をきっかけにユニットとしての活動を開始し、2012年に岩手県陸前高田市に移住、人々の暮らしや語り、その佇まいをそれぞれの方法で記録し、制作に取り組むようになった。

本展示では、《波のした、土のうえ》(2014)と《二重のまち／四つの旅のうた》(2020)、二つの映像作品を中心に紹介した。前者は陸前高田で二人が出会った人々の言葉と風景の3年8ヶ月に及ぶ記録が、物語を起こすように構成され、後者はその6年後、同じ陸前高田を舞台にしなが、震災を経験していない4人の「旅人」に焦点が当てられている。当事者と非当事者のちがいを超えて記憶を継承しようと探る、彼女たちの実践を紹介した。

## 関連プログラム

上映会と作家を招いてのアフタートーク  
日時 11月5日(土)17:40～20:00  
場所 横川シネマ  
料金 500円  
上映作品 小森はるか+瀬尾夏美《二重のまち／交代地のうたを編む》2020  
カラー、サウンド 79分  
参加者数 32人

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	映像 / 上映時間
1	小森はるか+瀬尾夏美 Haruka Komori + Natsumii Seo	波のした、土のうえ <i>Under the Wave, On the Ground</i>	2014	カラー、サウンド 67分33秒
2	小森はるか+瀬尾夏美 Haruka Komori + Natsumii Seo	二重のまち／四つの旅のうた <i>Double-Layered Town/Songs of Four Journey</i>	2020	カラー、サウンド 27分17秒

## 関連記事「どこかで?ゲンビ ビデオアート編」

### ●新聞

2021年度  
「大規模改修の広島市現代美術館 新館長・寺口さんに聞く」、中国新聞、5月15日、10面、福田彩乃

2022年度  
「美術散歩 膨大な写真から他者に思いはせ」(原田裕規)、中国新聞、4月2日、10面、福田彩乃  
「広島のアパート 若手芸術家集う」、中国新聞、4月13日、13面、福田彩乃  
「道草あっちこっち② 第2三沢コーボ」、中国新聞セレクト、5月21日、4面、蒲池清士  
「小森さんから交え上映会」、毎日新聞、11月3日、21面、矢追健介  
「情報交差点／展示」、中国新聞、12月17日、17面  
「現美・新装開館へ向け「ようこそ」と「さよなら」」、毎日新聞、2月17日、23面、岩本一希、矢追健介  
「変わるゲンビ 変わらぬ使命」、朝日新聞、3月17日、24面、大野晴香

### ●定期刊行物(雑誌)

2022年度  
「ARTIST PICKUP.2 原田裕規」、美術手帖、4月号、136-141ページ、松岡剛  
「Event Guide」(小森はるか+瀬尾夏美)、Workin広島版、10/31号、8ページ

### ●定期刊行物(その他)

2021年度  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、6月号、12ページ  
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、7/1号、6面  
「ウッドデッキついにお披露目!!」、竹屋公民館だより わかたけ、9月号、3面  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、3月号、10ページ

2022年度  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、4月号、10ページ  
「ブラタケヤ」、竹屋公民館だより わかたけ、7月号、1面  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ  
「展覧会一覧」(小森はるか+瀬尾夏美)、せとうちアート通信、11月1日号、3ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、12月号、10ページ  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

### ●ウェブサイト

2021年度  
「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子

# どこかで?ゲンビ アーティスト編

## Dokokade? Genbi: Artist

# 諫山元貴「Objects #7」

Genki Isayama “Objects #7”

会期	2021年5月10日(月)～9月12日(日)	内容	諫山元貴は1987年大分に生まれ、2011年に広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程を修了して、広島を拠点に活動を展開している。「崩壊と複製」をキーワードに、制御できない出来事によって物質が変化していく様子や瞬間を映像や立体で表現する作家である。
会場	広島駅南口地下広場ショーウィンドウ		
観覧料	無料		
主催	広島市現代美術館		
担当	竹口浩司		

本展示では、既製品の成形型でつくられたオブジェクト(物体)が水中で崩壊していく様子を再生する《Objects》シリーズから、新作の映像インスタレーションを実現した。ショーウィンドウ内を紫色の光であやしく照らし、複数台のモニターと観葉植物の組み合わせから構成された作品は、道行く人たちの足をしばしば止めた。

関連プログラム				
諫山元貴《Order #6》 会期　5月27日(木)～9月12日(日)10:00～20:00 会場　紙屋町シャレオ・中央ビジョン				
出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	諫山元貴 Genki Isayama	Objects #7 <i>Objects #7</i>	2021	映像(マルチチャンネルビデオ)、モニター、植物育成ライト、鉢植えの観葉植物 サイズ可変

# 丸橋光生「I see 文字。」

Mitsuo Maruhashi “i see characters”

会期	2021年9月18日(土)～2022年1月16日(日)	内容	視覚と認識をテーマに制作する丸橋による「イメージと文字」シリーズは、物体や映像に映し出されるものにそれらを表す文字を重ねて見せることで、鑑賞者のなかでイメージと文字が融合せず、ささやかな混乱を生じさせる。この展示では「夢」という文字を登場させることで、わたしたちが普段何気なく行っている「見る」、「認識する」という行為について意識を向けさせるとともに、認識の不確かさについて問いかけた。また関連プログラムとして、映像作品《どこかの窓洗い》を限定配信した。画面を洗っているように見える映像作品が個人のスマートフォンやタブレットのなかで流れることで通常の視覚体験からの逸脱を試みた。
会場	広島駅南口地下広場ショーウィンドウ		
観覧料	無料		
主催	広島市現代美術館		
担当	笹野摩耶		

本展示では、2つの映像とテキストを組み合わせた新作を発表した。エーデルワイスの花がシベリアから氷河とともにゆっくりと時間をかけてアルプスまで移動してきたという事実に着想を得たインスタレーション作品である。

関連プログラム				
丸橋光生《どこかの窓洗い》 募集期間　10月28日(木)～12月27日(月) 参加方法　金座街に掲出の現代美術館懸垂幕のQRコードから 参加者数　9人				
出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	丸橋光生 Mitsuo Maruhashi	I see 文字。 <i>i see characters</i>	2021	木、鏡、モニター サイズ可変

# トウ「Oops!!」

ToU “Oops!!”

会期	2022年1月22日(土)～5月22日(日)	内容	トウは、自然や生理現象といった具体的な形状をもたないものへの関心から作品を制作している。風や竜巻といった自然現象を有機的にあらかず立体作品の制作と並行して、消化を経てつくり出される生物の排泄物を採集・観察し、3Dスキャンや型取りによって作品化してきた。この展示では、広島駅地下広場のショーウィンドウ内に巨大なピンク色のレリーフを登場させた。作家自身が美しいと感じる形態をそのまま扱いながらも、それらを不自然に拡大したりカラフルに着色することで、「もの」がもつ物質的な生々しさを取り除き、抽象的な形へと変化させ、鑑賞者に驚きをもたらすと共に視点の異化を促した。
会場	広島駅南口地下広場ショーウィンドウ		
観覧料	無料		
主催	広島市現代美術館		
協力	株式会社スギタニ		
担当	笹野摩耶		

本展示では、2つの映像とテキストを組み合わせた新作を発表した。エーデルワイスの花がシベリアから氷河とともにゆっくりと時間をかけてアルプスまで移動してきたという事実に着想を得たインスタレーション作品である。

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	トウ ToU	Oops!! <i>Oops!!</i>	2022	樹脂、水性塗料・発泡スチロール 204,9×700×98,4

# 園田昂史「EDELWEISS」

Takashi Sonoda “EDELWEISS”

会期	2022年5月28日(土)～2022年8月28日(日)	内容	園田昂史は1989年熊本に生まれ、2018年に広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程を満期退学して、現在はアラヌス芸術社会科学大学大学院(アルフター、ドイツ)に在籍して活動している。「変身」や「自己変容」をキーワードに、自分自身が植物や動物になり変わり、自然やまちの中に介入するという方法によって彫刻、ビデオパフォーマンス、ドローイング、インスタレーション作品を手がけている作家である。
会場	広島駅南口地下広場ショーウィンドウ		
観覧料	無料		
主催	広島市現代美術館		
担当	竹口浩司		

本展示では、2つの映像とテキストを組み合わせた新作を発表した。エーデルワイスの花がシベリアから氷河とともにゆっくりと時間をかけてアルプスまで移動してきたという事実に着想を得たインスタレーション作品である。

出品目録				
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	園田昂史 Takashi Sonoda	EDELWEISS <i>Edelweiss</i>	2022	映像(2チャンネル)、テキスト 23分

# and DOMANI「村上友重＋黒田大スケ」

and DOMANI “Tomoe Murakami＋Daisuke Kuroda”

実施会期	2022年1月8日(土)、3月10日(木) (1/9～3/9は休場)	内 容	本展覧会は、文化庁が実施する「新進芸術家海外研修制度」の成果発表の場である展覧会「DOMANI・明日展」との連携事業として、村上友重、黒田大スケという広島にゆかりのある二作家を招いて開催した。写真を表現手段とする村上は、光の痕跡が像を結ぶ現象そのものに関心を抱き、制作を通して光を捉え、集めるという行為の意味を探求。一方、黒田は自身が教育を受け制作に携わってきた彫刻を歴史的に捉え直し、自らの立脚点と状況の主題化を試みた。広島城二の丸という特殊な展示会場において、おのずと内部空間に入り込む自然光や外気、あるいは周囲に臨む市内中心部の風景を排除するのではなく、むしろ積極的に捉えたことで、相互作用がもたらす効果を反映させた展示となった。
当初予定	2022年1月8日(土)～2月13日(日)		
会 場	広島城 二の丸		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館、文化庁、広島城		
協 力	安東淳一、広島市文化振興課、皆実町六丁目内会(広島市南区)、なかた美術館、THE POOL		
制作協力	アート・ベンチャー・オフィス ショウ		
担 当	角奈緒子、松岡剛		
入場者数	469人		

関連プログラム	カタログ
1 村上友重 プロジェクト「広島の光の採集」 日時 2021年11月3日(水・祝)、11:00～12:30 会場 広島県各地の参加者とオンライン実施 参加者数 33人 *本プロジェクトで制作したサイアノタイプは展覧会で発表した。	『DOMANI・明日2021-22 文化庁心身芸術家海外研修制度の作家たち』 発行:文化庁／発行年:2022年／総頁数:152ページ
2 黒田大スケ まち歩き彫刻鑑賞ガイドツアー「彫刻探訪」(収録) 日時 1月10日(月・祝) 会場 広島市内各所	
3 村上友重×黒田大スケ アーティストトーク(収録) 日時 1月22日(土) 会場 広島城二の丸	
4 村上友重×北森武彦博士 対談「光について」(収録) 日時 2月6日(日) 会場 広島城二の丸	

\*2、3、4、は、各会場で収録し、広島市現代美術館公式YouTubeで公開した。

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	村上友重 Tomoe Murakami	31の光のサンプル, 20211103 10minutes. <i>31 light samples. 20211103 10minutes.</i>	2021	サイアノタイプ 各31.8×23.8 (31点)
2		休眠していた画像たち 広島、オランダ、そして広島的光 <i>Dormant images. Light of Hiroshima, Netherlands, and Hiroshima.</i>	2021	スライドショー 78分52秒
3		「Treatise on light」シリーズより <i>Treatise on light series</i>		
3-1		Treatise on light_HR0046 <i>Treatise on light_HR0046</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 100×120
3-2		Treatise on light_HR0188 <i>Treatise on light_HR0188</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 100×120
3-3		Treatise on light_HR0296 <i>Treatise on light_HR0296</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 120×100
3-4		Treatise on light_HR0090 <i>Treatise on light_HR0090</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 60.9×76.1
3-5		Treatise on light_HR9911 <i>Treatise on light_HR9911</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 60.9×76.1
3-6		Treatise on light_HR9855 <i>Treatise on light_HR9855</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 40.5×50.7
3-7		Treatise on light_HR0109 <i>Treatise on light_HR0109</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 40.5×50.7

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
3-8	村上友重 Tomoe Murakami	Treatise on light_HR0236 <i>Treatise on light_HR0236</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 各31.8×23.8 (31点)
3-9		Treatise on light_HR9991 <i>Treatise on light_HR9991</i>	2021	アーカイバルビグメントプリント 78分52秒
		「所有の方法、観察」シリーズより <i>Method for owning light, observation series</i>		
4-1		所有の方法、観察(葉と花_2) <i>Method for owning light, observation (Leaves and Flowers_2)</i>	2021	サイアノタイプ 100×120
4-2		所有の方法、観察(Sea glass) <i>Method for owning light, observation (Sea glass)</i>	2021	サイアノタイプ、シーグラス、標本箱 100×120
4-3		所有の方法、観察(花_1) <i>Method for owning light, observation (Flowers 1)</i>	2021	サイアノタイプ 120×100
4-4		所有の方法、観察(時間と苺) <i>Method for owning light, observation (Time and strawberries)</i>	2021	サイアノタイプ 60.9×76.1
4-5		所有の方法、観察(枝) <i>Method for owning light, observation (Branch)</i>	2021	サイアノタイプ 60.9×76.1
4-6		所有の方法、観察(二の丸、15分間) <i>Method for owning light, observation (Ninomaru, 15 minutes)</i>	2021	サイアノタイプ 40.5×50.7
4-7		所有の方法、観察(海辺_1) <i>Method for owning light, observation (Seashore 1)</i>	2021	サイアノタイプ 40.5×50.7
4-8		所有の方法、観察(海辺_2) <i>Method for owning light, observation (Seashore 2)</i>	2021	サイアノタイプ 29.5×21
4-9		所有の方法、観察(花_2) <i>Method for owning light, observation (Flowers 2)</i>	2021	サイアノタイプ、花、標本箱 27.1×19.3、28×20.5×7(花の入った標本箱)
4-10		所有の方法、観察(重なる葉) <i>Method for owning light, observation (Overlapped leaves)</i>	2021	サイアノタイプ 39.7×29.4
4-11		所有の方法、観察(こもればの跡_2) <i>Method for owning light, observation (Trace of shadow and light (tree)_2)</i>	2021	サイアノタイプ 107.5×78.7
5		Released, piled up, and will be released again after a while. <i>Released, piled up, and will be released again after a while.</i>	2021	樹皮、葉、枝、シャーレ、標本箱、発色現像方式印画、カラーネガフィルム サイズ可変
		詳細: ・N07a7-02(マルバヤナギ, Giant pussy willow, Salix chaenomeloides) 葉、枝、シャーレ、発色現像方式印画 40.5×50.7cm(印画紙) ・E17b34-01(シダレヤナギ, Weeping willow, Salix babylonica) 葉、シャーレ、標本箱、発色現像方式印画 25.4×30.5cm(印画紙) ・E19a56-01(クスノキ, Camphor tree, Cinnamomum camphora) 樹皮、標本箱、発色現像方式印画、カラーネガフィルム 20.3×25.4cm(印画紙)、10×12.5cm(カラーネガフィルム) ・N07a7-01(ユーカリ, Eucalyptus, Eucalyptus melliodora) 樹、葉、標本箱 ・E18a39-01(ソメイシロ、Yoshino cherry, Cerasus×yedensis) 葉、シャーレ、発色現像方式印画、カラーネガフィルム 18×13cm(印画紙)、6.1×7.3cm(カラーネガフィルム)		
6	黒田大スケ Daisuke Kuroda	彫刻家達 <i>Sculptors</i>	2022	モニター、こたつ、ビデオ こたつ制作協力 野村由香 68分8秒
7		村上鷹雄のためのプラクティス <i>Practice for Takao Murakami</i>	2022	タブレット、ビデオ 9分5秒
8		瓦全のためのプラクティス <i>Practice for Gazen</i>	2022	ビデオ 3分49秒
9		自由の女神について <i>On the Statue of Liberty</i>	2022	モニター、こたつ、5チャンネルビデオ こたつ制作協力 野村由香 12分20秒
10	村上友重・黒田大スケ Tomoe Murakami, Daisuke Kuroda	ヒロシマイト調査記録 <i>Research on "Hiroshimite"</i>	2022	写真、ドローイング他

# 松本千里「星つぶの彼方」

Chisato Matsumoto “Beyond the Stardust”

会 期 2021年10月8日(金)～2022年1月16日(日) 内 容 松本千里は1994年広島に生まれ、2023年に広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程を修了(当時は在籍中)し、広島を拠点に活動を展開している。伝統的な染織技術を学び、素材と技法に根ざしつつ、インスタレーションやパフォーマンス活動など現代における新しい表現に挑戦している作家である。

会 場 エビデンギャラリー

観 覧 料 無料

主 催 広島市現代美術館

担 当 竹口浩司

本展示では、なかでも松本が精力的に取り組んできた「絞り」の技法による新作を発表。通常は染めの技法である絞りを駆使することで布をかたちづくり、空間をダイナミックに活かすインスタレーションを展開した。通りに面したガラス張りのギャラリーゆえ、昼と夜でまったく異なる表情を見せていた。

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	松本千里 Chisato Matsumoto	星つぶの彼方 <i>Beyond the Stardust</i>	2021	絞り・布 サイズ可変

# 久保寛子「ヒト新世－Anthropocene－」

Hiroko Kubo “Anthropocene”

会 期 2022年1月21日(金)～2022年4月21日(木) 内 容 久保寛子は1987年広島に生まれ、広島市立大学芸術学部彫刻専攻を卒業後、テキサスクリスチャン大学美術修士課程を修了し、広島を拠点に活動を展開している。先史芸術や民族芸術、文化人類の学説に取材しながら、生活に身近な素材を用いてスケール感の大きなインスタレーションを実現する作家である。

会 場 エビデンギャラリー

観 覧 料 無料

主 催 広島市現代美術館

担 当 竹口浩司

本展示では、「人新世」という地質学の新造語に着目し、ブルーシートを素材にした巨大な新作を発表。コロナ禍をはじめとした切実な社会情勢を受けながら、変わりゆく広島の風景をモチーフとした現代の群像画の可能性を探求した。

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	久保寛子 Hiroko Kubo	ヒト新世の群像 <i>Group Portrait of Anthropocene</i>	2022	ブルーシート、シート紐、ノトメ、鉄 サイズ可変

# 平野薫「傘」

Kaoru Hirano “Umbrella”

会 期 2022年4月29日(金・祝)～2022年9月25日(日)

内 容 平野薫は1975年長崎に生まれ、2003年広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程を修了し、広島を拠点に活動を展開している。古着の衣服や傘などを糸の一本一本にまで解き、結び直して再構成する繊細なインスタレーションを手がけ、人の記憶や衣服に染みついた歴史を浮かび上がらせる作家である。

会 場 エビデンギャラリー

観 覧 料 無料

主 催 広島市現代美術館

担 当 竹口浩司

本展示では、広島県内のいろいろな場所から忘れ物の傘を譲り受け、そのうちの6本を解いて再構成し、あわせて解かなかった他の傘もギャラリー内に配置することで新作のインスタレーション作品を実現した。

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	平野薫 Kaoru Hirano	傘 <i>Umbrella</i> Untitled -rain Kake Hiroshima-, Untitled -rain Yoshiwa Hiroshima-, Untitled -rain Ichiuchikita Hiroshima-, Untitled -rain Ozukahigashi Hiroshima-, Untitled -rain Nishihakushima Hiroshima-, Untitled -rain Hijiyama Hiroshima- を含む	2022	解いた傘・傘 サイズ可変

# 米倉大五郎

Daigoro Yonekura

会 期 2022年10月1日(土)～11月27日(日)

内 容 米倉大五郎は1975年広島に生まれ、2006年に広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程を修了し、広島を拠点に活動を展開している。一貫して「絵画とは何か」という問いを立て、カテゴリーに分類されることのない根源的な「絵画」の在り方を追求している。

会 場 エビデンギャラリー

観 覧 料 無料

主 催 広島市現代美術館

担 当 竹口浩司

本展示で出品された作品は、米倉自身がダム湖の周辺で撮影した風景写真を白黒コピー機で繰り返しコピーし、それらの断片を切り貼りし、つなぎ合わせて制作された。それにより山水画と風景写真、現実と虚構を行き来する風景画としてのイメージが現出された。

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	米倉大五郎 Daigoro Yonekura	C.I. <i>C.I.</i>	2004	コピーした紙、写真、ジェッソ、サインペン、グラフィックレヨン・キャンバス 210×330
2	米倉大五郎 Daigoro Yonekura	Untitled <i>Untitled</i>	2006	コピーした紙、写真、ジェッソ、サインペン、グラフィックレヨン・キャンバス 210×330

# 手嶋勇氣「ひろしまスケッチvol.3」

Yuki Tejima “Hiroshima sketch vol.3”

会 期 2022年12月3日(土)～2023年2月18日(土) 内 容 長期休館中、館外でサテライト展示を実施する「どこかで?ゲンビ」の一環であり、主に広島を拠点に活動するアーティストを紹介する枠組みにおいて、手嶋勇氣の作品を展示した。  
会 場 エビデンギャラリー  
観 覧 料 無料  
主 催 広島市現代美術館  
担 当 清水和音、松岡剛

手嶋は近年、スマートフォンアプリを用いてスケッチした風景を、さらにキャンバス上に投影してなぞるように描くペインティングを制作している。この手法に基づき、会場が面する平和大通りの景色を描いた巨大な新作ペインティングを発表。反復するモチーフが画面上で増殖するようにパノラマを形成し、ガラス張りである会場空間との相互作用の中で、作品それ自体が風景をつくり出す、作家の新たな試みとして展開された。また、リニューアルオープンを目前に控えた展示として、美術館再開直前の期待感を醸成する仕掛けともなるよう企画した。

## 出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)
1	手嶋勇氣 Yuki Tejima	AID#60 AID#60	2022	アクリル絵具・キャンバス 250×700

## 関連記事「どこかで?ゲンビ アーティスト編」

- 新聞  
2021年度  
「広島的光集め現代アート作ろう」(and DOMANI)、中国新聞、10月14日、13面  
  
2022年度  
「情報交差点／展示」(園田昂史)、中国新聞、6月4日、14面  
「ひととき」(平野薫)、中国新聞、7月5日、11面、福田彩乃  
「情報交差点／展示」(米倉大五郎)、中国新聞、11月19日、12面  
「情報交差点／展示」(手嶋勇氣)、中国新聞、12月17日、17面  
「おでかけナビ／展示」(手嶋勇氣)、中国新聞セレクト、1月5日、8面  
「情報交差点／展示」(手嶋勇氣)、中国新聞、2月4日、18面
- 定期刊行物(雑誌)  
2021年度  
「6月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、6月号、67ページ  
「11月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、11月号、79ページ  
「2022年の美術展日本全国紹介一挙紹介!!」、美術の窓、12月号、122ページ  
「1月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、1月号、74ページ  
「2月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、2月号、71ページ  
  
2022年度  
「4月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、4月号、77ページ
- 定期刊行物(その他)  
2021年度  
「イベント」(諫山元貴)、読売新聞ひろしま県民情報、5月26日、3面  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、5月号、10ページ 他20件  
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、10/1号、6面 他3件  
「木漏れ日エッセイ」、ウェンディ広島、11月号、20ページ、岩本史緒
- 「特集」(松本千里)、文化情報マガジン to you、12月号、裏表紙  
「ワクワクおでかけ情報」、HOT PEPPER、1月号、14ページ  
  
2022年度  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、4月号、10ページ 他14件  
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、4/1号、6面 他3件  
「特集」(平野薫)、文化情報マガジン to you、5月号、裏表紙  
「展覧会一覧」(米倉大五郎、手嶋勇氣)、せとうちアート通信、11月1日号、3ページ  
「文化イベント」(手嶋勇氣)、文化情報マガジン to you、1月号、4ページ  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司  
「CLOSE UP ひと仕事 諫山元貴 手嶋勇氣」、美術ひろしま32、58-63ページ、竹口浩司  
「特集「コロナと美術」 コロナ禍の美術館—広島市現代美術館—」、美術ひろしま32、80ページ、竹口浩司  
「特集「コロナと美術」 コロナ禍の美術館を取材して」(丸橋光生)、美術ひろしま32、84ページ、福田彩乃  
「展覧会一覧」(手嶋勇氣)、せとうちアート通信、2月1日号、3ページ
- ウェブサイト  
2021年度  
「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子
- テレビ  
2022年度  
「TSSライク」(久保寛子)、テレビ新広島、4月19日  
「ひるまえ直送便」(平野薫)、NHK広島、6月4日  
「ひるまえ直送便」(米倉大五郎)、NHK広島、9月30日

# 長期プロジェクト

## Long-term Projects

# ヒスロム「現場サテライト」

Hyslom “Construction site Satellite”



現場サテライトより

美術館の改修工事とそれともなう長期休館、さらにその前後の期間にわたり実施した長期プロジェクト。加藤至、星野文紀、吉田祐からなるアーティスト・グループ、ヒスロムは身体を用いて土地を体験的に知るための遊び「フィールドプレイ」を各地で実践し映像や写真、パフォーマンス作品としてあらわしてきた。本プロジェクトでは、彼らを工事現場と化した美術館に招き、場との対話から生み出される映像やオブジェを紹介した。様々な会場を用いた展示やウェブサイト上の情報発信を通じて、改修工事の進捗を報告するばかりでなく、解体現場や建設現場といった「現場」に足を踏み入れた際の高揚感を一般に人々にも伝えることを目指した。

主催 広島市現代美術館  
担当 松岡剛、笹野摩耶

プログラム 1

## 休館演習 ヒスロムがいます(仮)

ライブ配信 2020年12月27日(日)  
オンライン配信 2021年2月3日(水)～

内容 これから本格始動する休館中プロジェクトの事前練習として、ヒスロムの3人が美術館の建物内外に入り込んで場に向き合い、アクションを繰り広げた。休館直前の美術館で一般公開するイベントとして企画されたものの、臨時休館をうけて急遽オンライン配信となった。

プログラム 2

## 現場サテライト～今週のことば

期間 2021年4月5日(月)～2023年8月28日(月)  
場所 比治山公園内のまんが図書館前の掲示板、公園管理事務所前掲示板、美術館外壁ポスター掲示板

内容 ヒスロムがこの長期プロジェクトの期間に心に浮かんだり、人から聞いたりして出会った言葉から、とくに印象深いものを選び出し、美術館スタッフらと墨で紙に書き記し、週ごとの掲示を行った。「続・今週のことば」としてリニューアル後も継続実施した。

プログラム 3

## 休館本番

オンライン配信 2021年4月30日(金)～

内容 工事を経て変改していく美術館の内外装や周辺環境、そして足場設置より間近に迫れるようになった各所の窓との身体を通じたかわり、また、葺き替える屋根の廃材となるアルミ板再活用のための試行など、彼らのアクションを記録した動画をプロジェクトの進展にともない随時追加公開した。

プログラム 4

## 「現場サテライト」記録・資料展示 1

会期 2021年7月13日(火)～9月11日(土) 内容 美術館内外で撮影された映像と写真を中心に紹介。また、当時の彼らが関心を向けた対象を幅広く示すことを目的に、当時のプロジェクトの全容を包括的に示す資料展示を行った。  
会場 鶴見分室101  
観覧料 無料  
入場者数 60人

出品目録

No.	作品名
1	「今週のことば」
2	記録写真
3	記録映像
4	空き缶を溶かしたもの

## 「現場サテライト」記録・資料展示 2

会期 2022年5月24日(火)～8月27日(土) 内容 館の屋根材として用いられたアルミに関する試みを中心とした展示を行った。飲料の空き缶を用いた試行を2年以上にわたり続けた段階から、実際の屋根材を用いた実験へと移行する様子を紹介した。  
会場 鶴見分室101  
観覧料 無料  
入場者数 143人

出品目録

No.	作品名
1	空き缶を溶かしたもの
2	空き缶から鋳造されたもの
3	屋根材を溶かしたもの
4	屋根材から鋳造されたもの
5	記録映像

## 「現場サテライト」記録・資料展示 3

会期 2022年9月3日(土)～11月27日(日) 内容 プロジェクトの継続性を示すことを主眼とした資料展示を行った。多数並んだ「今週のことば」やショーウィンドウに並ぶことで意外性の生じるものなど、多数の人々が行き交う場所で目を引きやすい資料を選定した。  
会場 広島駅南口地下広場ショーウィンドウ

出品目録

No.	作品名
1	「今週のことば」傑作選
2	館内に常設されるヒスロム専用カゴ台車
3	関心事、やるべき事柄が記されたホワイトボード
4	これまでのプロジェクトの流れを紹介するスライドショー
5	アルミ温泉のドローイング

プログラム 5

## 「現場サテライト」金座街懸垂幕

期間 2021年12月27日(日)～2022年5月26日(木) 内容 工事とそれともなう建物の改変にアーティストたちが身体的に向き合う象徴的な場面として、解体前のアプローチプラザで行ったアクションの記録写真を金座街懸垂幕として掲出した。  
場所 広島金座街商店街



●新聞  
2022年度  
「情報交差点／展示」中国新聞、6月4日、14面  
「改修工事も芸術の舞台」朝日新聞、6月6日、17面、菅野みゆき

●定期刊行物(その他)  
2022年度  
「特集」、文化情報マガジン to you、5月号、裏表紙  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、7月号、10ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、8月号、10ページ

「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、9/1号、6面  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ  
2022年度  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

●テレビ  
2022年度  
「ひるまえ直送便」、NHK広島、6月4日

# 2m26「ツールボックス・プロジェクト」

2m26 “Tool Box Project”



ワークショップ風景

フランス出身のデザイン・ユニット「2m26」(メラニー・エレスバク、セバスチャン・ルノー)が制作した可動式のワークショップ・ステーション「ツールボックス」を活用したプロジェクトを実施した。家型のツールボックスのなかには、さまざま道具や材料をいれるためのボックスと、組み立て式のテーブルとツールが収納されている。休館中、ツールボックスを軽トラックの荷台に載せてまちなかに運び、2m26と一緒にを行うワークショップ「2m26と!」、美術館スタッフと一緒にを行うワークショップ「ゲンビと!」を実施した。参加者はものづくりに専念するだけでなく、おしゃべりをしたりあそんだりしながら、ツールボックスを中心としてゆるかに関わり合い、ともに過ごす時間を楽しんだ。

主 催 広島市現代美術館  
担 当 笹野摩耶、角奈緒子

## プログラム 1

### 2m26と!オンラインで!納品セレモニー&スペシャル・トーク編

期 間	2021年8月28日(土)13:00~15:00	内 容	完成したツールボックスの納品セレモニーを執り行い、その様子をオンラインで配信した。また、2m26をむかえてオンライン・スペシャル・トークを実施し、2m26の活動や、ツールボックスのデザインのアイデア、広島で行うプロジェクトについて話した。
配 信	YoutubeLive		

## プログラム 2

### 2m26と!ベンチづくりと散歩編

日 時	2021年10月24日(日)9:00~17:00	内 容	鶴見分室101で使用するためのベンチを2m26とワークショップ参加者と一緒につくった。完成後は、ベンチを抱えて平和大通りを散歩しながら運んだ。
当初予定	2021年8月29日(日)		
会 場	平和大通り緑地帯		
講 師	2m26		
参 加 費	無料		
参加者数	19人		

## プログラム 3

### ゲンビと!紙やチラシでチョーあそぶ編

日 時	2022年3月19日(土)10:00~15:00	内 容	過去に広島市現代美術館でつくられた展覧会チラシやリーフレットなど、さまざまな紙を素材とした工作を楽しんだ。
会 場	基町クレドふれあい広場		
参 加 費	無料		
参加者数	48人		

## プログラム 4

### 2m26と!八丁堀にチョーばりでっかいテーブルをつくる編

日 時	2022年7月23日(土)・24日(日)9:00~17:00	内 容	直径約7メートルの“でっかい”ドーナツ型のテーブルとベンチを2m26とワークショップ参加者と一緒につくった。それらは八丁堀の空き地「ツカノマテラス」(2022年7月25日~10月31日)に設置され、期間限定の憩いの場として活用された。
会 場	ツカノマテラス		
共 催	カミハチキテル-HEART OF HIROSHIMA-		
講 師	2m26		
参 加 費	無料		
参加者数	44人		

## ゲンビと!ツカノマの素材から自分だけのオリジナル・グッズをつくる編

日 時	2022年8月27日(土)10:00~11:30、11:30~13:00、15:30~17:00	内 容	過去に美術館が展覧会やイベント告知のために作成したターボリン地の懸垂幕をベンケースやキーホルダー、財布などに生まれ変わらせるアップサイクル・ワークショップを実施した。
会 場	ツカノマテラス		
講 師	中間大介、西瑛里菜(株式会社みつづ工房)		
参 加 費	無料		
参加者数	45人		

## 広島県立美術館・広島市現代美術館合同企画

### 「ケンビとゲンビの作品を並べたら、美術についての疑問が解ける(かも)」展 関連企画

### 「ツールボックスを使ってみたら、楽しい工作ができる(かも)」ワークショップ

日 時	2022年11月5日(土)10:00~16:00	内 容	合同展の関連企画として、過去に広島市現代美術館と広島県立美術館でつくられた展覧会チラシやリーフレット、ターボリン地の懸垂幕を素材に、自由に工作を楽しむワークショップを実施した。
会 場	広島県立美術館エントランス		
共 済	広島県立美術館		
参 加 費	無料		
参加者数	69人		

#### 関連記事

●新聞 2021年度 「ふみばこ」、中国新聞、3月18日、11面	2022年度 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、7/1号、6面 「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司
2022年度 「情報交差点／イベント」、中国新聞、7月2日、12面 「広島のパル跡地 憩いの場創出へ」、中国新聞、7月8日、13面 「アートがにぎわいに一役」、中国新聞、8月28日、21面、平田智士 「歩行者楽しく歩きやすく」、日本経済新聞、9月1日、35面、長沼俊洋 「変わるゲンビ 変わらぬ使命」、朝日新聞、3月17日、24面、大野晴香	●ウェブサイト 2021年度 「ARCHITECTURE」、designboom、1月20日、lynne myers
●定期刊行物(その他) 2021年度 「木漏れ日エッセイ」、ウエンディ広島、11月号、20ページ、岩本史緒 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、8/1号、6面	●テレビ 2022年度 「TSSライク!」、テレビ新広島、7月24日 「Eタウンスポーツ」、中国放送、7月30日

## トヨダヒトシ「映像日記／スライドショー」

Hitoshi Toyoda “Visual Diary/Slide Show”



写真家・トヨダヒトシは撮った写真をプリントせずに、映写機によるスライドショー上映の形式で発表を続けている。日記のように撮影されたささやかな日々の光景がスクリーンに浮かんでは消えていく様子は、鑑賞者の記憶に触れ、過去を編みなおし、現在に再生させる。

1年目の活動として、トヨダが活動拠点をニューヨークから日本に移す時期に合わせ鏡のように制作された2つの作品《白い月》と《黒い月》を野外上映し、美術館の「これまで」と「これから」を想像する時間を共有した。

2年目には、広島市立宇品中学校美術部の生徒と1年間におよぶプロジェクトを実施した。参加者にはコンパクトフィルムカメラを渡して、トヨダと同様に日々の写真を撮ってもらい、それらの写真を各自で選び、上映し、編集するワークショップをほぼ毎月行い、できあがった「映像日記」をリニューアルオープン後の美術館で発表した。

主 催 広島市現代美術館  
担 当 竹口浩司、小野佳奈

## 上映会

日 時	2022年3月26日(土)、27日(日) 18:40~	上映作品	《白い月》(2010-2022/60min/35mm slide film / silent)
当初予定	2021年10月16日(土)、17日(日)		[26日]
会 場	比治山公園内ムーアの広場		《黒い月》(2010-2022/80min/35mm slide film / silent)
観 覧 料	無料		[27日]
観覧者数	79人		

## 広島市立宇品中学校美術部とのワークショップ【中学校でのワークショップ】

2022年4月22日(金) オリエンテーション	12月26日(月) 中津川浩章によるレクチャー、スライドのマウント作業、映写機による上映
5月14日(土) トヨダヒトシ《An Elephant’s Tail—ゾウのしっぽ》(1999-2022/35分)上映	12月27日(火) 《An Elephant’s Tail—ゾウのしっぽ》再上映
6月11日(土) レクチャー「『日記』をつけるように絵を描いた人—画家、江上茂雄について」竹口浩司	2023年1月14日(土)、2月11日(土)、3月11日(土) スライドのマウント作業、映写機による上映
7月16日(土) レクチャーと演奏「写真と写真、音と音の『間』に耳を傾けよう—音楽家、エリック・サティについて」小野佳奈	
8月22日(月)、23日(火)、10月8日(土)、11月12日(土) スライドのマウント作業、映写機による上映	

## 【美術館での上映会】

日 時	2023年3月25日(土)、26日(日)	『トヨダヒトシ+広島市立宇品中学校美術学部ワークショップ
会 場	地下1階ミュージアムスタジオ	「わたしとせかいにふれる」ドキュメントブック
観 覧 料	無料	発行:広島市現代美術館／発行年:2022年3月／総頁数:62ページ
観覧者数	97人	

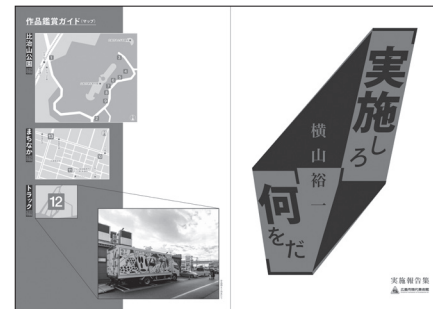
●新聞  
2022年度  
「宇品中生が写真アート」、中国新聞、8月23日、21面、福田彩乃

●定期刊行物(その他)  
2021年度  
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、3/1号、6面  
「字幕付き映画情報」、広島県聴覚障害者センターだより、3月号

2022年度  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司  
「広島の美術この2年 「ない」を包みこむ「ある」」、美術ひろしま32、88ページ、竹口浩司

# 横山裕一:「実施しろ」「何をだ」

Yuichi Yokoyama: “Do it.” “What?”



実施報告集

休館中に館外で展開するプロジェクトとして、横山裕一の漫画作品を紹介。作品を掲出する媒体として、美術館周辺に設置された工事現場仮囲いフェンスや、事業告知のために活用していた既存の看板等を使用した。通常は本として読むことが想定されている漫画を、大きく引き伸ばし、一種のインスタレーションとして屋外で展示することで、予期せぬ場所で漫画作品と遭遇する驚きをもたらし、休館中の美術館活動への関心を高めることを目的とした。横山は、本プロジェクトのために比治山の歴史や美術館建物、今回の協力各社と関係する事物をテーマに、新作10点を描き下ろした。謎めいたタイトル、「実施しろ」「何をだ」は、横山による漫画本『燃える音』（888ボックス、2020年）所収の「出現」より引用。

主 催 広島市現代美術館  
特別協力 888ボックス  
担 当 角奈緒子、清水和音

## プログラム 1

### 比治山公園編

期 間 2021年5月1日(土)～2022年3月31日(木) 内 容 比治山公園内、おもに美術館周りの工事現場に設置された仮囲いフェンスや既存の看板に、美術館建物や比治山の歴史に着想を得た新作漫画を大きく掲出した。

## プログラム 2

### まちなか編

期 間 2021年8月1日(日)～2022年3月31日(木) 内 容 商店街(金座街)の懸垂幕、飲食店のシャッター、エレベーター塔(ガラス)など、通常、作品展示場所として想定されていない箇所に漫画作品を大きく掲出した。

\*汁なし担担専門店キング軒は2021年10月8日(金)から展示  
\*紙屋町交差点地上にある紙屋町シャレオエレベーター塔4箇所は2022年1月20日(木)から展示  
\*金座街商店街は2021年12月27日(月)までの展示

協 力 汁なし担担麺専門キング軒

## プログラム 3

### トラック編

期 間 2021年8月14日(土)～2022年3月31日(木) 内 容 「展示」のあり方の可能性を探るさらなる試みとして、主に食品を輸送する専用トラックのバンポディ(サイドパネル)に漫画を掲出。さながら動く展示として、小型車2台、中型車2台、大型車1台の計5台が広島市内外を走行した。

## プログラム 4

### 横山裕一 アーティストトーク@比治山公園

期 間 2021年11月30日(火)、18:00～19:30 内 容 比治山公園内に設置した漫画作品をアーティストと一緒にめぐり、実際に作品の前で、今回のために制作された漫画に関するエピソード等をお話いただいた。トーク終了後、ミュージアムショップを臨時で開設。横山の書籍やグッズを出張販売し、作家によるサイン会を行った。

集合場所 めいぶる〜ぶ「現代美術館前」バス停前  
講 師 横山裕一  
参加費 無料  
参加者数 24名

関連記事

- 新聞  
「大規模改修の広島市現代美術館 新館長・寺口さんに聞く」、中国新聞、5月15日、10面、福田彩乃
- 定期刊行物(その他)  
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、7月号、10ページ 他8件  
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、6/1号、6面  
「木漏れ日エッセイ」、ウェンディ広島、11月号、20ページ、岩本史緒

- 「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司
- ウェブサイト  
「横山裕一描き下ろしマンガ、広島比治山公園に登場」、コミックナタリー、5月7日  
「イベント/フェア、展示」、HIROSHIMA T-SITE、11月26日  
「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子

出品目録

**作品鑑賞ガイド**  
(マップつき)

本鑑賞ガイドに掲載した文章はすべて、横山裕一氏の了承を得て、本人の公営ツイッターより一部抜粋、オリジナル表記の文体となっています。  
@neomanga を必ずフォロー!

出揃うと10枚前後の地図になる順番に全部見ると繋がる話がある話になっているというわけではないが同じ人が何度か出てくるからそう誤解する人もいるだろう

1 11 睡むアガカキ混ざる男達これは市内に実在する汗解し担ッア軒。店内は背景に渦巻く四次元空間が見えるが実際の店内はこういうふうではない

2 5 C型飛翔体を見上げる広島市民であるCとは広島市でなく現美術館に実在するC型飛翔体をそっくりに描いている

3 13 4 これら看板が美術館周辺の何処に設置されたか不明だが写真を見ると周囲は森林のように見えるので容易に近付けない立地かもしれな疑密看板である

6 7 8 13 9 13

10 まちなか編  
施設内の看板集ほか、まちなかにも作品が展示  
2021年8月1日(日)～2022年3月末予定  
広島市内中心部  
協賛: 汗なし担ッ専門キック軒

12 トリック編  
2021年8月14日(土)～2022年3月末予定  
広島市内  
協賛: 中国運輸株式会社  
看板: 作品がプリントされた看板がトラックの内外を走行する車両のプリントの裏面を映す

13 車体寸が原稿紙上で7×27cmとなり電車の壁に横長過ぎる事に疑念を感じ担当者に確認/本当にこの様な車両が実在するか積載量1tの新製直江大輪送車ではないか最新式なら(おれにまかせて正解だ)

当該輸送会社は普段食品輸送専門であるらしく食糧を運搬する男達の笑顔を描く物語としたけり運転手達の共感を呼ぶと自負する内容だ

横山裕一: 美術館「何をだ」  
会期中休、観覧無料  
特別協力: 887アタラシ  
企画: 広島市現代美術館  
アートディレクション: 英文 MOCA 2022

# 新生タイポ・プロジェクト

Rebirth Typography Project



美術館リニューアルの一環として、機能の拡充や大幅な変更があった箇所、そして来館者を最初に迎え入れる受付、チケットカウンターなどを対象として、美術館や地域に関係する過去の文字デザイン(タイポグラフィ)から新たな表示をつくりだすプロジェクト。書体デザイナーの岡澤慶秀、およびグラフィックデザイナーの岡本健十をメンバーとして、2021年より美術館の近隣地域をはじめとする広島市内、そして館内や館にまつわる資料に記された文字デザインを調査し、それらの特徴を活かした新たな文字を作り、館内7箇所のサインを作成した。また、コインロッカーには様々な箇所で見つけた数字を引用し、すべての番号が異なる文字デザインを採用した。

主催 広島市現代美術館  
担当 松岡剛、清水和音

プログラム 1

## 「新生タイポ・プロジェクト」金座街懸垂幕

期間 2022年5月27日～8月25日  
内容 館内サインのための市内調査において発見された文字を利用し、プロジェクトタイトルを作成し、金座街懸垂幕として掲出した。プロジェクトの周知を図るとともに、身のまわりのユニークな文字に注目する楽しさを表現した。

場所 広島金座街商店街

関連記事

- 定期刊行物(その他)  
2022年度  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

- 2023年度  
「まち歩き 寄り道編 ケンビ(広島市現代美術館)」、読売新聞ひろしま県民情報、4月19日、中面  
「Event Guide」、Workin広島版、4/24号、54ページ  
「まち歩き 寄り道編 ケンビ(広島市現代美術館)」、読売新聞ひろしま県民情報、5月17日、中面

# 地域連携

Regional  
Cooperation

## どこかで?ゲンビ 学校編

Dokokade? Genbi: School

休館中、広島市内の小中学校・高等学校にコレクションの一部を巡回展示した。展示期間中は、美術館スタッフが学校を定期的に訪問し、学芸員の仕事や作品についてのレクチャー、鑑賞ワークショップなど、各学校・学年に応じてさまざまなプログラムを実施した。また、児童・生徒たちが作品の日ごろの作品メンテナンスを行ったり、教材として作品が取り上げられたりするなど、授業のなかで作品が活用された。

主催 広島市現代美術館  
担当 笹野摩耶、小野佳奈、岩本史緒、清水和音

プログラム 1

### フェルナンド・ボテロ《小さな鳥》

2021年3月～2022年3月

広島市立五日市南小学校

①ワークショップ「コンディション・レポートづくり」  
2021年5月12日 143人(5年生)

②ワークショップ「《小さな鳥》の俳句づくり」

2021年7月14日 135人(5年生)

③ワークショップ「鑄造作品づくり」  
2022年3月22日、23日 148人(5年生)  
講師:中西紗和(鑄造作家・美術家)

プログラム 2

### 岡本敦生《CRUST(地殻)-9》、《CRUST-cocoon 97-2》

2021年3月～2023年2月

広島市立段原小学校

①ワークショップ「作品鑑賞とコンディション・レポートづくり」  
2021年6月24日 66人(3年生)

②ワークショップ「作品のなかに入ることを想像する」小野佳奈  
2021年12月9日 56人(3年生)

③ワークショップ「新聞づくり」  
2022年2月24日 68人(3年生)

④ワークショップ「作品鑑賞とコンディション・レポートづくり」

2022年7月7日 114人

⑤レクチャー「作品タイトルや制作背景について」小野佳奈  
2022年9月14日 84人

プログラム 3

### 岡本太郎《明日の神話》1号原画

2021年6月～10月

広島市立広瀬小学校

ワークショップ「対話型鑑賞」小野佳奈  
6月23日 54人(6年生)

2022年6月～10月

広島市立阿戸小中一貫教育校

ワークショップ「対話型鑑賞」小野佳奈  
9月15日 30人(中学1～3年生)

2021年11月～2022年3月

広島市立牛田中学校

ワークショップ「対話型鑑賞」小野佳奈  
11月24日 34人(1～3年生)  
12月10日 82人(1～3年生)

2022年10月～12月

広島市立中筋小学校

ワークショップ「作品から聞こえる音を想像する」小野佳奈  
11月8日、9日 192人(5、6年生)

## キース・ヘリング《Altar Piece》

2021年6月～2022年3月

広島女学院中学高等学校

- ①ワークショップ「コンディション・レポートづくり」  
7月6日 60人(高校2年生美術選択、美術部)
- ②レクチャー「作家と祭壇画について」笹野摩耶  
11月9日 58人(高校2年生美術選択、美術部)
- ③生徒たちが制作した「アルター・ピース」の講評会  
1月27日(オンライン開催)30人(高校2年生美術選択、美術部)

2022年3月～2023年1月

修道中学校・修道高等学校

- レクチャー「作家と作品について」笹野摩耶、小野佳奈  
5月26日 15人(高校2年生美術選択)
- 5月31日 17人(高校2年生美術選択)
- 6月1日 23人(高校2年生美術選択)

## オノ・ヨーコ《My Mommy Is Beautiful》

2021年9月～11月

広島インターナショナルスクール

- レクチャー「作家とインスタレーション・アートについて」笹野摩耶  
10月13日 10人(高校生美術選択)

2022年6月～7月

広島市立清和中学校

- レクチャー「作家とインスタレーション・アートについて」小野佳奈  
6月14日 32人(2年生)

2022年10月～12月

広島市立美鈴が丘中学校

- レクチャー「作家とインスタレーション・アートについて」笹野摩耶  
11月24日 96人(3年生)

※各学校ともに、作品展示後は生徒による活動が実施された

## 映像編ワークショップ

### 飯川雄大《デコレータークラブー衝動とその周辺にあるものー》

2021年10月5日

広島市立中野東小学校 36人(6年生)

2022年1月28日

広島市立日浦中学校 66人(1年生)

2021年11月15日、19日

広島市立祇園小学校 102人、68人(6年生)

作品観賞後、クラスで印象に残ったことなどを共有し、作品の内容について話し合った  
担当 笹野摩耶

### マーサ・ロスラー《キッチンの記事学》

2022年1月28日

広島市立日浦中学校 66人(3年生)

作品観賞後、クラスで印象に残ったことなどを共有し、作品の内容について話し合った  
担当 小野佳奈

記録集「広島市現代美術館「どこかで?ゲンピ学校編」活動記録集2021-2023」

発行:広島市現代美術館 / 発行年:2023年3月15日 / 総頁数:22ページ

#### ●新聞

2021年度

「所蔵品貸し出し アートを身近に」、中国新聞、5月24日、19面

2022年度

「ほっとビック」、読売新聞ひろしま県民情報、5月25日、表面

2023年度

「ニュースの門@広島 休館中もアート絶やさず」、読売新聞、6月20日、23面

#### ●定期刊行物(その他)

2021年度

「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司

#### ●ウェブサイト

2021年度

「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子

#### ●テレビ

2022年度

「広島ニュースTSS」、テレビ新広島、6月2日

「ニュース(広島)」、NHK広島、6月2日

「TSSライク!」、テレビ新広島、6月2日

「イマナマ!」、中国放送、6月3日

「イマナマ!」、中国放送、7月20日

# どこかで?ゲンビ ポスター編

Dokokade? Genbi: Poster

休館中、地域とのさらなるパートナーシップの構築を目指し、過去に開催した展覧会のポスターを、カフェや飲食店など街中の人が集う場所に展示した。これまで美術館に足を運ぶことの少なかった人々に対して、現代美術館の周知を図る機会となった。また各店舗から、ゲンビパンやゲンビ御朱印など、リニューアルオープンに向けた独自の企画が提案された。

主催 広島市現代美術館  
担当 立花利恵

参加店舗等(50音順)

藍染 スペース東浦通り/あき代筆/朝日珈琲サロン 胡町店/歩いてきんさい屋/ANT-Hiroshima/畝 刺繍店/Organic Farm あげびや/オーロラカメラ/御菓子司 鶴屋/おこの魂悟空/お好み焼き KAJISAN/お好み焼き 燦々/お好み焼き 三八/お好み焼き たちこま/お好み焼き 藤川商店/お好み焼きの店 通/おっこん商店/音café Luck/音楽喫茶 ヲルガン座/開花屋/懐石料理 豆匠/Kazu-Hair/カタカムナのミカカカフェ/Cafe あかいはりねずみ/株式会社おのえ/株式会社 広興工業/株式会社 みづま工房/広島 T-SITE 広島 蔦屋書店/Calbee Future Labo/キッチンまりちゃん/ギャラリー+カフェ カモメのばあばあ/KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS/キング軒 大手町本店/キング軒本通店/キング軒 薬研堀出張所/ゲストハウス akicafe inn/ゲストハウス COCO/Gemisch/KENDARS珈琲店/kokopelli/児玉接骨院/コロリトゥーラ/斉藤宝飾/阪谷自転車商会/じ味 一步/旬屋/STUDIO 101/すべいすフラミンゴ/絶滅危惧種/蕎麦きり 吟/たかちゃん健康研究所/竹口歯科/竹屋公民館/多聞院/段原キッチン Sole/チャームサイドサンドイッチ/CHAI SHOP ピンカートンズスーク/中国新聞 段原販売所/tsuyu coffee/T-glass/T'S HAIR/Date・WORKSHOP STUDIO/デイリーヤマザキ広島松川町店/てっぱん家/てっ平 駅前店/TOUKA/トモコーポレーション/Tratt 庖丁六番店/Trois Copain/ニコニコレンタカー 広島駅南口店/乃きや/橋本酒店/花子cafe/花みづき/PARCO della PACE/bulge/PEACE/比治山公園管理事務所/比治山神社/ビューティーサロンはらい/広島民主商工会/広島駅南口開発株式会社(広島駅南口地下広場案内所)/広島霞郵便局/広島市留学生会館/広島段原東浦郵便局/広島東郵便局/広島比治山本町郵便局/富士谷商店 Dr.Drive セルフ段原店/Besoin/ブランジェリー101プリオ/Hair Salon U7/Better/本と自由/MOUNT COFFEE/マチのとこやさん.com 段原店/マハ本店/MISAKI BAKERY/名井珈琲商店/MIRAI/minnashokudo/ムッシュパネン/基町プロジェクト M98/MONO/森一芳園/Mon Coeur/やきとり酒場 鳥笑/焼肉バル OMOTENASHI/山県屋クリーニング店 やまがたや/山中宝時計店/you-ichi/ゆかり屋/ゆみわた/横川シネマ/Luv ODEN 広島の場町店/Luv Wine 広島の場店/READAN DEAT/LIQUOR MITOMO/リフォームファッションみどり段原店/Rooster/REN/ローソン 広島宇品神田五丁目店/ローソン 広島の場店/和創料理 山桜

## リニューアルオープンに向けた企画

Besoin 「ゲンビパン」



ブランジェリー101プリオ 「ゲンビパン」



Gemisch 「ゲンビフェア」



グリーンコーヒー 「Hijiyama Blend」※



ギャラリー+カフェ カモメのばあば 「ゲンビ鯉のぼり」



Cafe あかいはりねずみ 「リモナナ」



比治山神社 「ゲンビ御朱印」



旬屋 「パレットボックス」



たかちゃん健康研究所 「ヒジヤマChai」



御菓子司 鶴屋 「浮島」



お好み焼き三八 「ゲンビお好み焼き」



おっこん商店 「ゲンビお好み焼き」



チャームサイドサンドイッチ 「ヒジャーマンサンド」



ムッシュパネン 「リンゴの記録」



※は本企画のみ参加

関連記事「どこかで?ゲンビポスター編」

●新聞  
2022年度  
「芸術も食欲も 一体感」読売新聞、9月7日、20面、豆塚円香

# 鶴見分室101のウッドデッキをつくろう

Let's build a wooden deck for the Tsurumi Annex 101

実施会期	2021年7月25日(日)	内 容	休館中の館外拠点のひとつとして、比治山からもほど近い鶴見町のアパート「第2三沢コーポ」の一階に「鶴見分室101」を開設。その屋外スペースに、誰でも集える「ウッドデッキ」をつくるワークショップを実施した。参加者とスタッフで、電動ドリルを使って床面と木柵を作成、木柵には塗装を施し、遠目からでもわかりやすい特徴的なウッドデッキを完成させた。
当初予定	2021年6月6日(日)、7月18日(日)		
会 場	鶴見分室101		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市現代美術館		
担 当	角奈緒子		
講 師	中本敬章(WOODPRO)		
参加者数	22人		

# オトナのための現代アート塾

実施会期	2021年7月27日(火)	内 容	安佐勤労青少年ホームとの協働により企画したアート入門講座。当初は市内アートセンターの訪問や現代美術館関連展示の訪問鑑賞も予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回の座学のみ実施した。アート思考、オークションでの高額落札、謎のグラフィティアート、投資といったニュースを賑わせているトピックを導入に、社会人生活に根差した関心を意識した構成とした。
当初予定	2021年5月13日(木)、20日(木)、27日(木)		
会 場	広島市安佐勤労青少年ホーム		
観 覧 料	無料		
主 催	広島市安佐勤労青少年ホーム、広島市現代美術館		
担 当	松岡剛		
参加者数	3人		

# 紙屋町シャレオ×広島県の美術館 シャッターアート・ミュージアム ～朝と夜、シャレオが美術館に～

県内の美術館と連携し、各館のコレクション紹介及びコロナ禍で美術に触れる機会を提供することを目的に、広島市中心部の紙屋町シャレオの南通り沿いの店舗シャッターに、作品画像を拡大印刷したシートを貼った。

主 催 紙屋町シャレオ

第1回	第2回
会期 2021年8月21日(土)～11月18日(木) 20:00～翌10:00	会期 2022年7月9日(土)～12月26日(月) 20:00～翌10:00
会場 紙屋町シャレオ南通り	会場 紙屋町シャレオ南通り
主催 泉美術館、ウッドワン美術館、海の見える杜美術館、奥田元宋・小由女美術館、広島市現代美術館、ひろしま美術館	主催 広島県美術館ネットワーク、ウッドワン美術館、海の見える杜美術館、奥田元宋・小由女美術館、なかた美術館、広島県立美術館、広島市現代美術館、ひろしま美術館、ふくやま美術館
担当 岩本史緒	担当 岩本史緒
当館の紹介作品 猿嘔《8:15AM》1988、奈良美智《Missing in Action -Girl meets Boy-》2005、立石大河亞《紅虎超特急》1964、入野忠芳《裂罅 75-2》1975、草間彌生《よみがえる魂》1995	当館の紹介作品 岡本太郎《明日の神話》1号原画

## 関連記事

●新聞 2021年度 「シャッターで名画鑑賞」、毎日新聞、8月22日、20面、池田一生 「Chugoku Sketch」、読売新聞、9月1日、30面、豆塚円香 「シャッターに名作アート」、中国新聞、9月27日、19面、福田彩乃	●定期刊行物(その他) 2021年度 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ
2022年度 「地下街が美術館に 8館連携、シャッターアート」、毎日新聞、9月24日、23面 「新春対談 平和への道筋ヒロシマから」、中国新聞、1月1日、18-19面	2022年度 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、9月号、10ページ 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、12月号、10ページ 「Mail Box」、文化情報マガジン to you、12月号、15ページ
●定期刊行物(雑誌) 2021年度 「今月の特ダネ!」、タウン情報ひろしま、10月号、19ページ 「Event Guide」、Workin広島版、10/4号、9ページ 「Event Guide」、Workin広島版、10/11号、47ページ 「Wink LOOK UP!」、Wink広島、11月号、70ページ	●ウェブサイト 2021年度 「広島地下街が美術館に テナントのシャッターにアート作品を印刷」、広島経済新聞、9月14日
2022年度 「Wink Check It Out!」Wink広島、9月号、12ページ	2022年度 「広島ニュース」、広島ニュース 食ベタインジャー、7月8日 「【広島市】シャレオが朝と夜に美術館に!?「シャッターアートミュージアム」に行ってみよう」、Yahoo!JAPANニュース、11月23日



# 中区図書館 芸術関連講座 ゲンビのアート講座 美術が映す、私たちの時代と社会

実施会期	2021年10月30日(土)	内 容	戦後の現代美術を中心に収集する広島市現代美術館のコレクションの特徴を踏まえ、同時代の作家らが、時代時代の状況の中で、どのような作品をつくってきたのかを起点に、美術がうつす社会の状況や時代性、その内における個人のあり様などに思いを巡らせる講座を行った。
会 場	JMSアステールプラザ		
観 覧 料	無料		
主 催	中区図書館、広島市現代美術館		
担 当	岩本史緒		
参加者数	30人		

## ゲンビアートクルーズ

広島市現代美術館と市内の公民館をつないで開催したオンライン・ワークショップ。参加者は、各会場で工事中の美術館の様子を紹介する映像を見ながら美術館に関するクイズに参加したり、鉛筆と紙を使って身の回りにあるものをこするフロッターージュを楽しんだ。

第1回

### みつけて、こすって、アートと出会う冬

開 催 日	2022年1月22日(土)
当初予定	2021年8月19日(木)
参 加 費	無料
主 催	広島市現代美術館、まちづくり市民交流プラザ、中央・竹屋・吉島・二葉・仁保・似島・三篠・古市・安・祇園・沼田・可部・白木・矢野・湯木西・八幡東・坪井公民館
共 催	リモート公民館ひろしま
担 当	岩本史緒、笹野摩耶

関連記事

●定期刊行物(その他)

2022年度

「events 7月からの事業案内」、中央公民館広報紙 ちゅうこう、7月号、1ページ

「夏休みはこうみんかんへGO!」、大河公民館だより そよかぜ、7・8月号、2ページ

「主催事業ごあんない」、竹屋公民館だより わかたけ、7月号、1ページ

第2回

### みつけて、こすって、クリエイト

開 催 日	2022年8月3日(水)
参 加 費	無料
主 催	広島市現代美術館、中央・竹屋・温品・仁保・大河・三篠・井口・古市・安・沼田・可部・高陽・安佐・瀬野・矢野・石内・八幡東・坪井公民館
担 当	岩本史緒、笹野摩耶

## ありがとう101

Thank you 101

実施会期	2023年1月10日(火)～2月18日(土)	内 容	休館中の活動拠点であった鶴見分室101での最後の企画として、「ありがとう101」を実施した。工事現場の様子を日々SNSで発信してきた「工事日記」の活動を、スライドショーの映像とパネル展示によって紹介した。
会 場	鶴見分室101		
担 当	竹口浩司、国広詞恵		
入場者数	58人		

展示したパネルは、工事施工者である清水・共立建設共同企業が「工事日記」で投稿された画像をプリントアウトし、作業員休憩室に実際に掲示していたものであり、工事施工者と美術館が改修工事を介して築いた関係性の賜物とも言える。あわせて、改修工事によって変わるところや変わらないところをパネルにて紹介し、来るべきリニューアルオープンに対する期待感を盛り上げた。

関連記事

●新聞

「情報交差点ノ展示」、中国新聞、2月4日、18面

「現美・新装開館へ向け「ようこそ」と「さよなら」」、毎日新聞、2月17日、23面、

岩本一希、矢追健介

●ウェブサイト

「『鶴見分室101』で広島市現代美術館リニューアル最後の展示会」、広島経済新聞、2月14日

●定期刊行物(その他)

「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、2月号、10ページ

「展覧会一覧」、せとうちアート通信、2月1日号、3ページ

# 情報発信

Information  
Spreading

## 休館中ウェブサイト

休館中の活動は、通常の事業区分に当てはまらない企画や、規模、期間、実施場所が様々な企画が増えることが想定された。それらを分かりやすく伝えるため、期間限定の特設ウェブサイトを作成した。



## 休館中ロゴ

美術館が休館中/改修中であることを伝えるため、休館中の美術館ロゴを制作し、休館中の宣伝・広報媒体に使用した。



## #ゲンビの工事日記

周辺の園路が通行止めとなり、閉ざされた美術館の「なか」で起こることを記録し発信する。現場観察写真のSNS投稿「#ゲンビの工事日記」を、改修工事休館の期間を通じてインスタグラムで行った。実施にあたっては、①休館中の美術館内の様子の公開、②工事で変わる場所の記録、③変わったことが分かりにくい場所の「前／後」の記録、を主な目的とした。撮影した画像・動画は15,000点を超える。

担当 国広詞恵



### 関連記事

#### ●定期刊行物(その他)

2021年度  
「木漏れ日エッセイ」、ウェンディ広島、11月号、20ページ、岩本史緒

#### 2022年度

「特集「コロナと美術」 コロナ禍の美術館—広島市現代美術館—」、美術ひろしま32、80ページ、竹口浩司

#### ●ウェブサイト

2021年度  
「NEWS | アート」、AXIS、12月13日  
「NEWS / HEADLINE」、美術手帖、12月19日  
「コロカルニュース」、コロカル、12月24日、阿部里歩  
「ウィズコロナでの挑戦 第5回 奇しくも重なったパンデミックと改修工事休館」、ネットTAM、1/7号、角奈緒子

# 休館中ニュースレター「Untitled」

休館中の事業では、従来の展覧会のようなポスター、チラシを作らないものが増えることが想定された。そのため、休館中の活動を可視化すること、これまで定期的にチラシ類を送っていた他美術館や関連機関との関係をつづけること、そして休館中の事業を通して生まれた新たなつながりを紹介することなどを目的に、年4号（休館期間を通して計9号）ニュースレターを発行した。

担当 岩本史緒、清水和音



# 休館中キャラクター「無題」さん

美術館が休館中であることを伝えるとともに休館中の活動を発信する際のシンボルとして、広島出身の漫画家西島大介氏にオリジナルキャラクター「無題」さんの制作を依頼した。また美術館のコレクションに親しむきっかけづくりとして、漫画「アートは静かに無題さんに語りかける」を計8作制作しニュースレターなどを通して発信した。

担当 岩本史緒



関連記事

- ウェブサイト  
2020年度  
「広島市現代美術館に公式キャラクター 休館中の活動PRで」、広島経済新聞、2月10日
- 2021年度  
「西島大介、広島市現代美術館の休館中限定ニュースレターで新連載」、コミックナタリー、5月7日

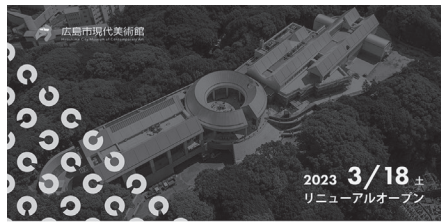
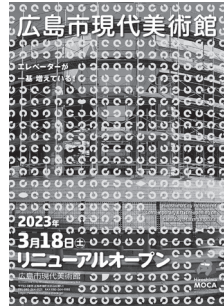
# 金座街懸垂幕

美術館の展覧会告知に使用している金座街商店街の懸垂幕を、休館中の活動を告知する媒体として引き続き使用するとともに、休館中の美術館の様子を紹介したり、アーティストの作品を展開する場所として活用するなど様々な試みを行った。



# リニューアルオープン

リニューアルオープンに向け、約半年前から段階的に発信を行った。9月に工事中の美術館の様子を公開、改修工事後の1月に建物公開と会見を実施。またオープン100日前からリニューアルオープンを伝えるポスター、チラシ、ティザーサイト、屋外広告物などを制作・発信した。オープン前日の3月17日には内覧会を実施し、翌18日には近隣住民が参加して制作したくす玉でオープンを祝った。



## 関連記事

### ●新聞

「広島市現代美術館 来年3月18日再オープン」、中国新聞、9月16日、22面、川上裕  
「ゲンビ再開 来年3月18日」、読売新聞、9月16日、29面  
「ヒロシマ賞作家購入 準備着々」、朝日新聞、9月18日、23面、興野優平  
「広島市現代美術館、来春に再開業」、日本経済新聞、9月23日、29面  
「市現代美術館 来年3月18日再開」、毎日新聞、10月3日、19面、中村清雅  
「潮流 スマホのアート」、中国新聞、12月15日、5面、片山学  
「懸垂幕で広島市現代美術館新装を告知」、毎日新聞、12月22日、22面  
「新ゲンビ 館内を公開」、読売新聞、1月20日、27面  
「改装の広島市現代美術館、内部公開」、日本経済新聞、1月20日、31面  
「広島市現代美術館 大規模改修終了 ガラス張り空間増築」、山陽新聞、1月30日、20面、平田亜沙美  
「黒川氏の精神を継承」、毎日新聞、2月12日、23面、岩本一希、矢追健介  
「現実・新装開館へ向け「ようこそ」と「さよなら」」、毎日新聞、2月17日、23面、岩本一希、矢追健介  
「ゲンビ改修 「作品」進化」、朝日新聞、2月18日、25面、黒田陸雄  
「美術人ナビ」、読売新聞、2月22日、27面  
「地元作家 羽ばたく場に」、中国新聞、3月10日、13日、13面、福田彩乃  
「変わるゲンビ 変わらぬ使命」、朝日新聞、3月17日、24面、大野晴香  
「気軽にアー体験を 現実 きょうリニューアルオープン」、毎日新聞、3月18日、25面、岩本一希  
「ゲンビ きょう再開 特別展「ヒロシマ賞」作家作品も」、読売新聞、3月18日、25面  
「現代美術館 装い新たに」、中国新聞、3月18日、32面、福田彩乃  
「「被爆地の美術館」再開」、中日新聞(夕刊)、3月18日  
「休館を経て広島市現代美術館がリニューアルオープン 特別展も開催」、毎日新聞(夕刊)、3月18日、岩本一希  
「チャイム」、産経新聞、3月19日、27面  
「天風録」、中国新聞、3月19日、1面  
「気軽に芸術楽しむ空間 広島市現代美術館 再オープン」、中国新聞、3月19日、26面、伊藤友一  
「記念特別展 100点彩る ゲンビ 新装オープン」、朝日新聞、3月19日、23面、副島英樹  
「「被爆地の美術館」全面修復終了再開」、長崎新聞、3月19日、26面  
「「被爆地の美術館」リニューアル開館」、山形新聞、3月19日  
「改修完了 被爆地の美術館再開」、信濃毎日新聞(夕刊)、3月20日  
「広島市現代美術館が改装開業」、日本経済新聞、3月21日、37面  
「ゲンビ再開 おめでとう」、読売新聞、3月25日、30面  
「「被爆地の美術館」リニューアル」、岩手日報、3月31日  
その他、東奥日報、秋田新聞、千葉新聞、神奈川新聞、伊勢新聞、岐阜新聞、北陸中日新聞、山口新聞、西日本新聞に掲載

### ●定期刊行物(雑誌)

「Wink Check It Out」、Wink広島、11月号、10ページ  
「新オープン&リニューアルオープンの美術館」、美術の窓、12月号、83ページ  
「2023年に行きたいニューオープンの美術館&ギャラリー」、日経おとなのOFF、1月号、114ページ  
「art now 開館・閉館」、美術の窓、3月号、196ページ  
「今月の特ダネ」、タウン情報ひろしま、3月号、11ページ  
「家族で行きたい、フラワースポット」、FunFANFun、春号、9ページ  
「やさしいミュージアムガイド Vol.45」、Grandeひろしま、春号、74-75ページ

### ●定期刊行物(その他)

「特集」、文化情報マガジン to you、5月号、裏表紙  
「Museum Report」、Workin広島版、10/10号、14ページ  
「特集」、文化情報マガジン to you、1月号、裏表紙  
「都市と表現 広島市現代美術館の休館中サテライト活動」、美術ひろしま32、36-39ページ、竹口浩司  
「特集「コロナと美術」 コロナ禍の美術館—広島市現代美術館—」、美術ひろしま32、80ページ、竹口浩司  
「特集「コロナと美術」 コロナ禍の美術館取材して」、美術ひろしま32、84ページ、福田彩乃  
「表紙」、ひろしま市民と市政、2/15号、表紙  
「施設イベント」、ひろしま市民と市政、3/1号、6ページ  
「表紙」、厚生だより、3月号、表紙  
「今月の表紙」、広島交響楽団第429回定期、3/4号、表紙、寺口淳治  
「3.18(土)現代美術館リニューアルオープン」、ひろしま市民と市政、2/15号、1ページ  
「生かして誕生、ワクワクの春 イカす広島」、リビング広島、3/17号、1-2ページ  
「Museum Report」、Workin広島版、3/27号、42ページ

### ●ウェブサイト

「ニュース」、美術展ナビ、9月15日  
「ニュース」、Tokyo Art Beat、9月15日  
「ニュース」、美術展ナビ、1月20日

「特集」、ひろしま公式観光サイト Dive!Hiroshima、3月1日  
「美術人ナビ」、美術展ナビ、3月16日  
「広島市現代美術館がリニューアルオープン 2年3ヶ月の休館を経て」、広島経済新聞、3月17日  
「トピックス」、リビング広島、3月17日  
「【レポ①〜③】祝!3/18現代美術館リニューアル」、3月17日、キムラミチタ  
「リニューアルした広島市現代美術館へ」、Hiroshima Peace Tourism、3月18日  
「いま、コレ」、中国新聞U35、3月19日、福田綾乃  
「News/Report」、美術手帖、3月19日、橋爪勇介  
「Hiroshima City Museum of Contemporary Art reopens after renovations」、The Japan Times、3月21日  
「ARTICLE」、ひろしまアートシーン、4月6日、山本功  
「#行ってみよう」、アシタノ、4月7日  
「下瀬美術館&広島市現代美術館—広島の新顔となる二つのミュージアム」、WEB別冊文藝春秋、4月7日、透明ランナー

### ●テレビ

「5UP!」、広島ホームテレビ、4月4日  
「イマナマ!リニューアルオープン盛り上げ企画」、中国放送、4月12日  
「TSSライク!」、テレビ新広島、4月14日  
「TSSライク!第2三沢コーポ オープンデー」、テレビ新広島、4月16日  
「5UP!第2三沢コーポ オープンデー アパートが美術館!?」、広島ホームテレビ、4月16日、4月19日  
「ひるまえ直送便:第2三沢コーポ、101鶴見分室」、NHK広島、5月19日  
「ひるまえ直送便」、NHK広島、5月27日  
「お好みワイドひろしま:来年3月開館の広島市現代美術館 改修工事の様子 報道公開」、NHK広島、9月15日  
「テレビ派:改修の広島市現代美術館LEDライトにカフェ…改修を報道公開」、広島テレビ、9月15日  
「TSSライク!」、テレビ新広島、9月15日  
「5UP!」、広島ホームテレビ、9月15日  
「イマナマ!」、中国放送、9月16日  
「TSSライク!」、テレビ新広島、12月9日  
「イマナマ!リニューアルオープンまで100日 広島市現代美術館 休館中 新たな取り組みも」、中国放送、12月12日  
「テレビ派:今春リニューアル 現代美術館 改修終了 報道公開」、広島テレビ、1月19日  
「TSSライク:生まれ変わる“ゲンビ” 報道公開」、テレビ新広島、1月19日  
「5UP!広島市現代美術館の改修工事が完了 3月リニューアルオープン」、広島ホームテレビ、1月19日  
「イマナマ!改装の広島市現代美術館 内部を報道公開 3月18日にリニューアルオープン」、中国放送、1月24日  
「イマナマ!作品たちも再び元の場所へ 広島市現代美術館 来月にリニューアル」、中国放送、2月3日  
「TSSライク!来月リニューアルオープン 広島市現代美術館 障がいがある人などへのサポート研修会」、テレビ新広島、2月15日  
「広島広域都市圏魅力発信「元就。二百万一心」:#95「広島市現代美術館まもなくリニューアルオープン」の巻」、中国放送、2月18日  
「ひるまえ直送便」、NHK広島、3月8日  
「テレビ派:広島市現代美術館がリニューアルオープン 大規模改修を終え」、広島テレビ、3月17日  
「5UP!広島市現代美術館 改修工事完了 18日リニューアルオープン」、広島ホームテレビ、3月17日  
「ひろしま満点ママ!!金曜日サーチ知った?」、テレビ新広島、3月17日  
「イマナマ!メンバーの金曜生中継 #20-広島市現代美術館がリニューアルオープン」、中国放送、3月17日  
「ひるまえ直送便:広島県のみなさんへのお知らせ」、NHKひろしま、3月17日  
「お好みワイドひろしま:広島市現代美術館が18日から再開へ 記念セレモニー」、NHK広島、3月17日  
「TSSライク!広島市現代美術館」がリニューアルオープン 待ち望んだ多くの人で賑わう」、テレビ新広島、3月18日  
「イマナマ!2年あまりの大規模改修を経てリニューアルオープン」、中国放送、3月18日  
「ビタニュー:大規模改修終える 広島市現代美術館 リニューアルオープン」、広島ホームテレビ、3月18日  
「イマナマ!比治山周辺グルメ地図サウインドイッチの専門店」、中国放送、3月21日  
「お好みワイドひろしま:広島市現代美術館リニューアル」、NHK広島、3月23日

### ●ラジオ

「よっちゃんの玉手箱」、FMおのみち、1月24日  
「本名正憲のおはようラジオ」、中国放送、3月3日  
「柏村武昭のランランラジオ」、広島FM、3月3日  
「よっちゃんの玉手箱」、FMおのみち、3月21日  
「京橋の社ONSATURDAY」、中国放送、3月22日

# 特別展

Special Exhibitions

## リニューアルオープン記念特別展 Before/After

Special Reopening Exhibition Before/After



実施会期 2023年3月18日(土)～6月18日(日)  
会場 展示室A-1～4、B-1～3、回廊、多目的スペース(モカモカ)  
観覧料 一般1,600(1,250)円、大学生1,200円(900)円、高校生・65歳以上800円(600円) \* ( )内は前売りおよび30名以上の団体料金  
主催 広島市現代美術館  
協力 KENJI TAKI GALLALEY、LEESAYA、SCAI THE BATHHOUSE、S.O.C. Satoko Oe Contemporary、The Third Gallery Aya  
協賛 丸子硝子株式会社  
後援 広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送  
担当 角奈緒子、清水和音、松岡剛、笹野摩耶、小野佳奈

内容 建物大規模改修後の美術館再開にあたり、リニューアルオープン記念特別展として、全館を用いた「Before/After」展を開催した。私たちのホームである美術館建物の改修工事という出来事を契機に生じる「前／後」をひとつの足がかりとして、さまざまな「まえ」と「あと」の現象や状況に着目。さらには、社会の変化やシステムの綻び、隠されたり葬り去られた過去や歴史があることを敏感に察知し、作品として発表してきたアーティストたちを取り上げ、当館収蔵作品と合わせて紹介した。それらの作品を通じて、さまざまな事象の「まえ」と「あと」を想起し、変化の有無や差異の認識だけでなく、その背景や一連の顛末によってもたらされる功罪や意義をも省察する機会とした。

※関連事業、出品目録、関連記事は、次年度年報に掲載する。

# その他

Others

## 収集作品目録／図版

### 収集目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm) ( )内は額寸法	備考	図版番号
[購入作品]						
1	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ランド・オブ・ドリームス <i>Land of Dreams</i>	2019	2チャンネルビデオ・インスタレーション、HDビデオ、モノクロ 25分19秒	Ed.2/6+1AP	図版1
2	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ラリー・キング、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Larry King, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版2
3	シリン・ネシャット Shirin Neshat	フィリップ・アルデレーテ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Phillip Alderete, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版3
4	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ネイサン・ヴッヅ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Nathan Vooge, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版4
5	シリン・ネシャット Shirin Neshat	イグナシオ・ルサーノ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Ignacio Luceno, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版5
6	シリン・ネシャット Shirin Neshat	マイケル・ゴールドデン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Michael Golden, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版6
7	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ジュリー・アン・デュラン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Julie Ann Duran, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 35.6×23.8(36.8×25.1×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版7
8	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ブランド・デイヴィス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Brant Davis, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 61×40.6(62.2×41.9×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版8
9	シリン・ネシャット Shirin Neshat	プリシラ・ウルフ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Priscilla Wolf, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 61×40.6(62.2×41.9×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版9
10	シリン・ネシャット Shirin Neshat	アマンダ・マルチネス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Amanda Martines, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 61×40.6(62.2×41.9×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版10
11	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ロバート・サウセド、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Robert Saucedo, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 61×40.6(62.2×41.9×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版11
12	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ブルース・ロレンゾ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Bruce Lorenzo, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 61×40.6(62.2×41.9×3.8)	Ed.5/5+2AP	図版12
13	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ローズ・アテンシオ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Rose Atencio, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 91.4×61(93.3×62.9×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版13
14	シリン・ネシャット Shirin Neshat	アリア・ヘルナンデス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Aria Hernandez, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版14
15	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ハービー・ネルソン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Herbie Nelson, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.7(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版15
16	シリン・ネシャット Shirin Neshat	マリー・オーヴァーストリート、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Marie Overstreet, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版16
17	シリン・ネシャット Shirin Neshat	パウルータ・カウボーイ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Paulita Cowboy, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×84.5(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版17
18	シリン・ネシャット Shirin Neshat	イヴェット・ラーソン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Yvette Larson, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版18
19	シリン・ネシャット Shirin Neshat	カタリーナ・エスピノーザ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Katalina Espinoza, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版19
20	シリン・ネシャット Shirin Neshat	グレッグ・フィッチ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Greg Fitch, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版20
21	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ジェネシス・グリアー、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Jenasis Greer, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.7(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版21
22	シリン・ネシャット Shirin Neshat	パティ・ステewart、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Patti Stewart, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 119.4×79.4(121.3×81.3×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版22
23	シリン・ネシャット Shirin Neshat	タミー・ドロブニック、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Tammy Drobnick, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 91.4×61(93.3×62.9×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版23
24	シリン・ネシャット Shirin Neshat	アイザック・シルヴァ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Issac Silva, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 152.4×101.6(154.3×103.5×4.4)	Ed.5/5+2AP	図版24
25	シリン・ネシャット Shirin Neshat	ジェームズ・レイノルズ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>James Reynolds, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 182.9×121.9(184.8×123.8×5.1)	Ed.5/5+2AP	図版25
26	シリン・ネシャット Shirin Neshat	デニス・キャロウェイ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Denise Calloway, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 182.9×121.9(184.8×123.8×5.1)	Ed.5/5+2AP	図版26
27	シリン・ネシャット Shirin Neshat	エドワード・ニコラス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより <i>Edward Nicolas, from Land of Dreams series</i>	2019	デジタルCプリント、アクリル絵具 205.7×137.2(208.9×140.3×5.7)	Ed.5/5+2AP	図版27

収集目録

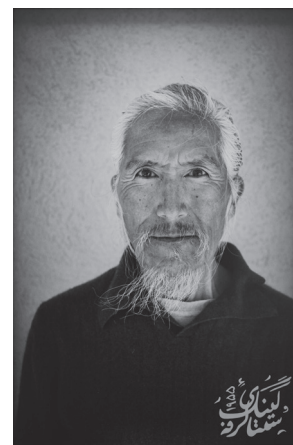
No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考	図版番号
【寄贈作品】						
1	舘囀 Ay-O	ピラミッド Pyramid	1977年	シルクスクリーン紙 96.0×75.8		図版28
2	森山安英 Yasuhide Moriyama	アルミナ頌 03 Ode to Alumina 03	1987年頃	油彩、樹脂・キャンバス 162.0×130.3		図版29
3	森山安英 Yasuhide Moriyama	アルミナ頌 04 Ode to Alumina 04	1987年頃	油彩、樹脂・キャンバス 162.0×130.3		図版30
4	森山安英 Yasuhide Moriyama	光の表面としての銀色 02 Silver as a Surface of Light 02	1991年頃	油彩、樹脂・キャンバス 162.0×130.3		図版31
5	森山安英 Yasuhide Moriyama	光の表面としての銀色 06 Silver as a Surface of Light 06	1992年頃	油彩、樹脂・キャンバス 162.0×130.3		図版32
6	森山安英 Yasuhide Moriyama	窓50(石内都写真集「ひろしま」による引用) Window 50 (Quote from Miyako Ishiuchi photo book, Hiroshima)	2017年	油彩、マスキングテープ・キャンバス 162.0×130.3		図版33
7	森山安英 Yasuhide Moriyama	石内都写真集「ひろしま」による模写Ⅲ Reproduction from Miyako Ishiuchi's photo book, Hiroshima III	2021年	油彩、マスキングテープ・キャンバス 162.0×130.3		図版34
8	三原秀明 Hideaki Mihaya	HELP/悪魔の欠伸 Help/ Devil's Yawn	2003年	アクリル・キャンバス 228.2×227.7		図版35
9	池田龍雄 Tatsuo Ikeda	青空の下を再び焦土にするな Don't Turn the Land under the Blue Sky into Scorched Earth Again	2007年	ミクストメディア・パネル 120.2×91.6		図版36
10	池田龍雄 Tatsuo Ikeda	青空の下を再び焦土にするな Don't Turn the Land under the Blue Sky into Scorched Earth Again	2007年	ミクストメディア・パネル 120.4×90.9		図版37
11	池田龍雄 Tatsuo Ikeda	基地 Military Base	2010年	ミクストメディア・パネル 73.0×60.7		図版38
12	野見山映治 Gyoji Noriyama	近づいてはいけない Don't Get Close	2012-18年	油彩・キャンバス 194.5×194.2		図版39
13	野見山映治 Gyoji Noriyama	誰だろう Who Is It?	2012-18年	油彩・キャンバス 182.0×227.0		図版40

【購入作品】

図版1 | ランド・オブ・ドリームス



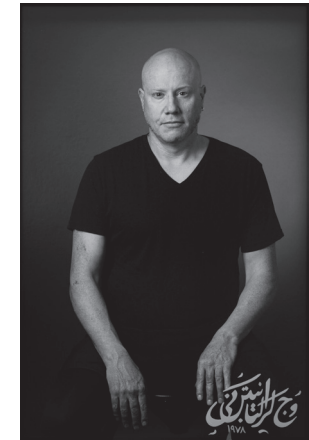
図版2 | ラリー・キング、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



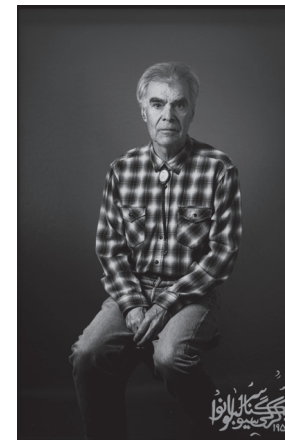
図版3 | フィリップ・アルデレーテ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



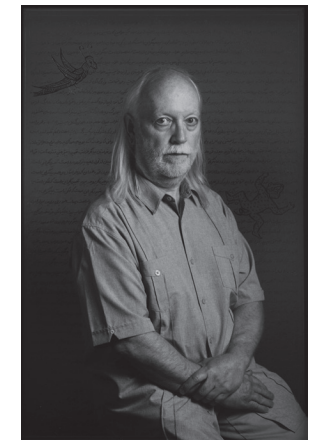
図版4 | ネイサン・ヴッジ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版5 | イグナシオ・ルサーノ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



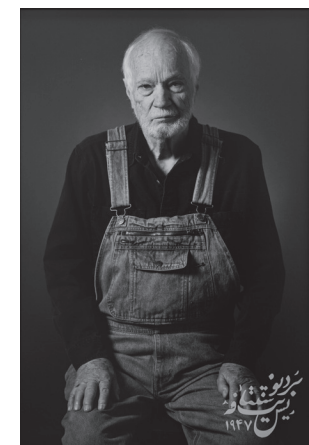
図版6 | マイケル・ゴールデン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版7 | ジュリー・アン・デュラン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版8 | ブラント・デイヴィス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



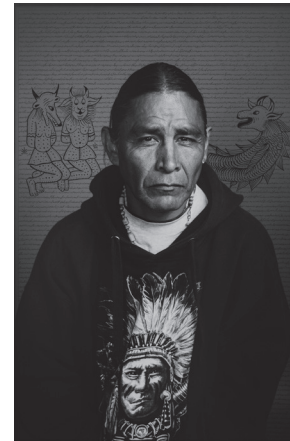
図版9 | プリシラ・ウルフ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版10 | アマンダ・マルチネス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版15 | ハービー・ネルソン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



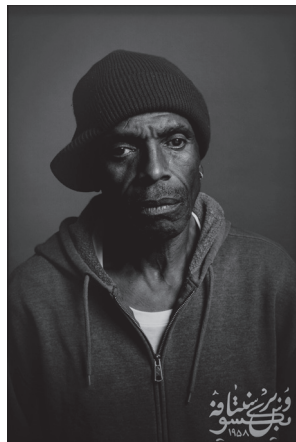
図版16 | マリー・オーヴァーストート、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版11 | ロバート・サウゼド、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版12 | ブルース・ロレンゾ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



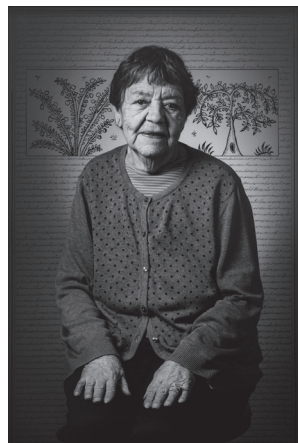
図版17 | パウリータ・カウボーイ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版18 | イヴェット・ラーソン、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版13 | ローズ・アテンシオ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



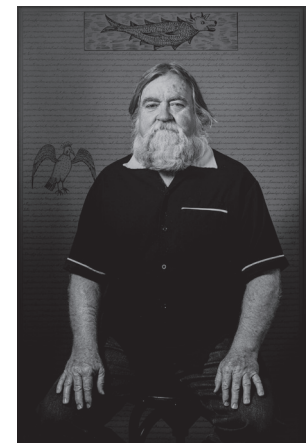
図版14 | アリア・ヘルナンデス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版19 | カタリーナ・エスピノーザ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版20 | グレッグ・フィッチ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより





図版21 | ジェネインス・グリアー、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版22 | ハティ・スチュワート、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版27 | エドワード・ニコラス、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



[寄贈作品]

図版28 | ピラミッド



図版23 | タミー・ドロブニック、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



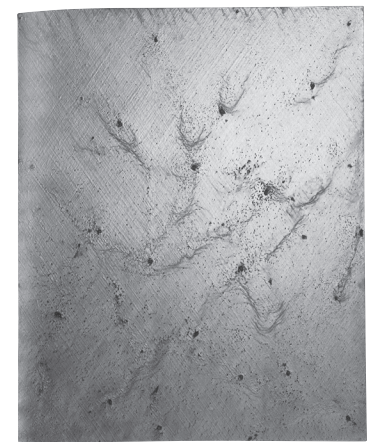
図版24 | アイザック・シルヴァ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



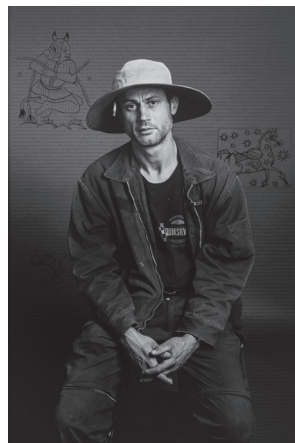
図版29 | アルミナ鎖 03



図版30 | アルミナ鎖 04



図版25 | ジェームズ・レイノルズ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



図版26 | デニース・キャロウェイ、ランド・オブ・ドリーム・シリーズより



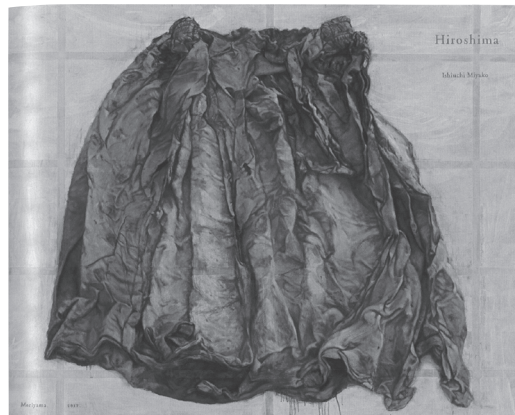
図版31 | 光の表面としての銀色 02



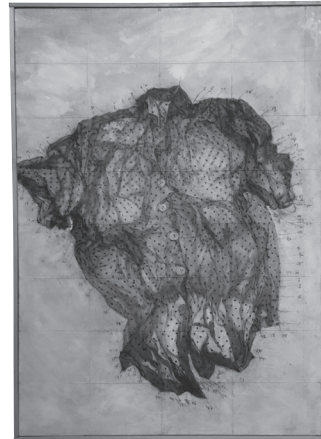
図版32 | 光の表面としての銀色 06



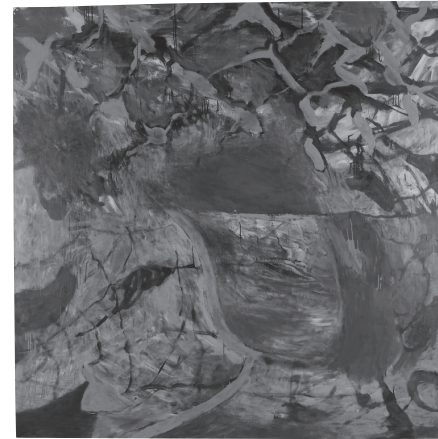
図版33 | 窓50(石内都写真集「ひろしま」による引用)



図版34 | 石内都写真集「ひろしま」による模写Ⅲ



図版39 | 近づてはいけない



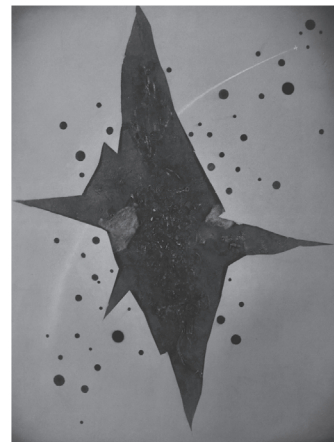
図版40 | 誰だろう



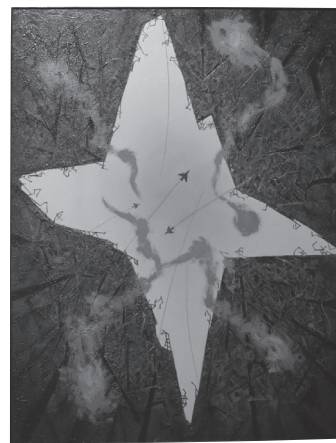
図版35 | HELP/悪魔の欠伸



図版36 | 青空の下を再び焦土にするな



図版37 | 青空の下を再び焦土にするな



図版38 | 基地



# 作品の貸出及び寄託記録

## 貸出目録

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出先・巡回館(会場)	展示期間	貸出期間
1	横尾忠則	1945年・夏	GENKYO 横尾忠則「原郷から幻境へ、そして現状は？」	愛知県美術館	2021年1月15日～4月11日	2020年12月10日～2022年9月22日
2	横尾忠則	天の足音		東京都現代美術館	2021年7月17日～10月17日	
3	横尾忠則	芸術と平和		大分県立美術館	2021年1月15日～4月10日	
4	フェルナンド・ボテロ	小さな鳥	ボテロ展 ふくよかな魔法	Bunkamura ザ・ミュージアム	2022年4月29日～7月3日	2022年3月15日～7月9日
5	諏訪敦	HARBIN 1945 WINTER	諏訪敦「眼裏裏の火事」	府中市美術館	2022年12月17日～2023年2月26日	2022年12月3日～2023年3月28日
※6	利根山光人	いれずみ	とびたつき 池田満寿夫とデモクラートの作家	和歌山県立近代美術館	2023年2月4日～4月9日	2022年11月5日～2023年11月10日
※7	利根山光人	ドーム		宇都宮美術館	2023年4月29日～6月18日	
				長野県立美術館	2023年9月9日～11月5日 (※の作品のみ展示)	
※8	池田 満寿夫	作品 (作品番号I-27)				
※9	池田 満寿夫	たいくつな時間				
※10	池田 満寿夫	作品 (作品番号I-29)				
11	池田 満寿夫	原始の太陽				
12	池田 満寿夫	アフリカの女				
13	池田 満寿夫	影				
14	池田 満寿夫	朝の光				
15	池田 満寿夫	海の音楽家				
16	池田 満寿夫	作品 (作品番号II-6)				
17	池田 満寿夫	白い岩石				
18	池田 満寿夫	古代人				
19	池田 満寿夫	赤の中の鳥				
20	池田 満寿夫	小さな喜び				
21	池田 満寿夫	表面 A	(3会場とも不出品)			
22	池田 満寿夫	坐った娘				
23	池田 満寿夫	女 動物たち				
24	池田 満寿夫	女				
25	池田 満寿夫	室内の女				
26	池田 満寿夫	退屈な朝				
27	池田 満寿夫	女王				
28	池田 満寿夫	瞳の中の星				
29	池田 満寿夫	子供のいのり				
30	池田 満寿夫	Tの肖像				
31	池田 満寿夫	草むらの中				
32	池田 満寿夫	女 五月				
33	池田 満寿夫	S字型のヘビ				
34	池田 満寿夫	急ぐ人				
35	池田 満寿夫	日光浴する貴婦人たち				
36	池田 満寿夫	二人の天使				
37	池田 満寿夫	出を待つ天使				
38	池田 満寿夫	水曜日の犬の散歩				
39	池田 満寿夫	動物の婚礼				
40	池田 満寿夫	金曜日は雨				
41	池田 満寿夫	小さな沼たち				
42	池田 満寿夫	大きな沼その他の沼				
43	池田 満寿夫	生徒の名はイヴ				
44	池田 満寿夫	婚礼の準備				
45	池田 満寿夫	恋人がやってくる				
46	池田 満寿夫	昆虫採集				
47	池田 満寿夫	日付のない日				
48	池田 満寿夫	タエコの朝食				
49	池田 満寿夫	自画像				
※50	池田 満寿夫	私をみつめる私				
51	池田 満寿夫	静物				
52	池田 満寿夫	鏡の前の女				
※53	池田 満寿夫	花嫁				
54	池田 満寿夫	夏 1				
55	池田 満寿夫	私は何も食べたくない				
56	池田 満寿夫	アダムとイヴ(捕らえられたイヴ)				
57	池田 満寿夫	聖なる手 1				
58	池田 満寿夫	花をもつ少女				

## 貸出目録

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出先・巡回館(会場)	展示期間	貸出期間
59	池田 満寿夫	私の詩人、私の猫				
60	池田 満寿夫	ロマンチックな風景				
61	池田 満寿夫	みつめる天使				
62	池田 満寿夫	姉妹たち				
63	池田 満寿夫	花園にて				
64	池田 満寿夫	夏の夢				
65	池田 満寿夫	シンデレラの広告				
66	池田 満寿夫	バラはバラ				
67	池田 満寿夫	Spring and Springs				
68	池田 満寿夫	青い椅子				
69	池田 満寿夫	愛の瞬間				
70	池田 満寿夫	ある種の関係				
71	池田 満寿夫	Something 1				
72	池田 満寿夫	欲望の原理(赤)				
73	池田 満寿夫	手の意味				
74	池田 満寿夫	最初のドロイング				
75	池田 満寿夫	開いたブラウス				
※76	池田 満寿夫	閉ざされた夜のために				
77	池田 満寿夫	アメリカの女				
78	池田 満寿夫	秘められた年				
79	池田 満寿夫	窓からの眺め C				
80	池田 満寿夫	ブタベストからの自画像				
81	池田 満寿夫	風景としての花嫁				
82	池田 満寿夫	海のスカート				
83	池田 満寿夫	女				
84	池田 満寿夫	赤いセーターの女				
※85	錢嘸	現代人				
※86	錢嘸	現代の恋人				
※87	磯辺行久	作品				

## 【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
1	鏡光	静物(魚の頭)	公益財団法人 大川美術館	2021年3月15日～2023年9月16日
2	鏡光	蝶		
3	鏡光	静物(柿のある)		
4	麻生三郎	裸B		
5	麻生三郎	ひとり		
6	鶴岡政男	二人		
7	鶴岡政男	凶兆		
8	鶴岡政男	はじまり		
9	森芳雄	漂泊		
10	寺田政明	野菜など		
11	山路商	自画像		
12	山路商	冬		
13	山路商	広島風景		
14	丸木位里・俊	原爆の図第1部「幽霊」(再制作版)		
15	石内都	ひろしま#71		
16	池田 満寿夫	作品	和歌山県立近代美術館	2021年3月8日～2023年2月2日
17	池田 満寿夫	たいくつな時間		
18	池田 満寿夫	作品		
19	池田 満寿夫	原始の太陽		
20	池田 満寿夫	アフリカの女		
21	池田 満寿夫	影		
22	池田 満寿夫	朝の光		
23	池田 満寿夫	海の音楽家		
24	池田 満寿夫	作品		
25	池田 満寿夫	白い岩石		
26	池田 満寿夫	古代人		
27	池田 満寿夫	赤の中の鳥		
28	池田 満寿夫	小さな喜び		
29	池田 満寿夫	表面 A		
30	池田 満寿夫	坐った娘		

## 【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
31	池田 満寿夫	女 動物たち		
32	池田 満寿夫	女		
33	池田 満寿夫	室内の女		
34	池田 満寿夫	退屈な朝		
35	池田 満寿夫	女王		
36	池田 満寿夫	瞳の中の星		
37	池田 満寿夫	子供のいのり		
38	池田 満寿夫	Tの肖像		
39	池田 満寿夫	草むらの中		
40	池田 満寿夫	女 五月		
41	池田 満寿夫	S字型のヘビ		
42	池田 満寿夫	急ぐ人		
43	池田 満寿夫	日光浴する貴婦人たち		
44	池田 満寿夫	二人の天使		
45	池田 満寿夫	出を待つ天使		
46	池田 満寿夫	水曜日の犬の散歩		
47	池田 満寿夫	動物の婚礼		
48	池田 満寿夫	金曜日は雨		
49	池田 満寿夫	小さな沼たち		
50	池田 満寿夫	大きな沼その他の沼		
51	池田 満寿夫	生徒の名はイヴ		
52	池田 満寿夫	婚礼の準備		
53	池田 満寿夫	恋人がやってくる		
54	池田 満寿夫	昆虫採集		
55	池田 満寿夫	日付のない日		
56	池田 満寿夫	タエコの朝食		
57	池田 満寿夫	自画像		
58	池田 満寿夫	私をみつめる私		
59	池田 満寿夫	静物		
60	池田 満寿夫	鏡の前の女		
61	池田 満寿夫	花嫁		
62	池田 満寿夫	夏 1		
63	池田 満寿夫	私は何も食べたくない		
64	池田 満寿夫	アダムとイヴ(捕らえられたイヴ)		
65	池田 満寿夫	聖なる手 1		
66	池田 満寿夫	花をもつ少女		
67	池田 満寿夫	私の詩人、私の猫		
68	池田 満寿夫	ロマンチックな風景		
69	池田 満寿夫	みつめる天使		
70	池田 満寿夫	姉妹たち		
71	池田 満寿夫	花園にて		
72	池田 満寿夫	夏の夢		
73	池田 満寿夫	シンデレラの広告		
74	池田 満寿夫	バラはバラ		
75	池田 満寿夫	Spring and Springs		
76	池田 満寿夫	青い椅子		
77	池田 満寿夫	愛の瞬間		
78	池田 満寿夫	ある種の関係		
79	池田 満寿夫	Something 1		
80	池田 満寿夫	欲望の原理(赤)		
81	池田 満寿夫	手の意味		
82	池田 満寿夫	最初のドロ잉		
83	池田 満寿夫	開いたブラウス		
84	池田 満寿夫	閉ざされた夜のために		
85	池田 満寿夫	アメリカの女		
86	池田 満寿夫	秘められた年		
87	池田 満寿夫	窓からの眺め C		
88	池田 満寿夫	ブタベストからの自画像		
89	池田 満寿夫	風景としての花嫁		
90	池田 満寿夫	海のスカート		
91	池田 満寿夫	女		
92	池田 満寿夫	赤いセーターの女		

## 【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
93	鯨嶋	現代人		
94	鯨嶋	現代の恋人		
95	磯辺行久	作品		
96	池田 満寿夫	無題	和歌山県立近代美術館	2021年3月8日～2023年10月14日
97	池田 満寿夫	無題		
98	池田 満寿夫	男と女 1		
99	池田 満寿夫	男と女 2		
100	池田 満寿夫	男と女 3		
101	池田 満寿夫	男と女 4		
102	池田 満寿夫	男と女 5		
103	池田 満寿夫	男と女 6		
104	池田 満寿夫	男と女 7		
105	池田 満寿夫	男と女 8		
106	池田 満寿夫	男と女 9		
107	池田 満寿夫	男と女 10		
108	池田 満寿夫	男と女 11		
109	池田 満寿夫	詩集「女友達」の挿画 1		
110	池田 満寿夫	詩集「女友達」の挿画 2		
111	池田 満寿夫	詩集「女友達」の挿画 3		
112	池田 満寿夫	詩集「女友達」の挿画 4		
113	池田 満寿夫	夏の夢 A		
114	池田 満寿夫	夏の夢 B		
115	池田 満寿夫	独裁者の夢・モリスの夢		
116	池田 満寿夫	秘められた季節		
117	池田 満寿夫	窓からの眺め B		
118	池田 満寿夫	夜		
119	池田 満寿夫	雨の午後		
120	池田 満寿夫	中間		
121	池田 満寿夫	スイート・ガーデン		
122	池田 満寿夫	スイート・スイート		
123	池田 満寿夫	カレンダー		
124	池田 満寿夫	裸の靴		
125	池田 満寿夫	ランチタイムと一緒に		
126	池田 満寿夫	空からの贈物		
127	池田 満寿夫	逃げる空		
128	池田 満寿夫	空の部分 1		
129	池田 満寿夫	ベルリン個展のポスター		
130	池田 満寿夫	椅子		
131	池田 満寿夫	ある風景		
132	池田 満寿夫	青空		
133	池田 満寿夫	マリリンの半分		
134	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集1天使が私を攪乱する		
135	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集2天使が私を攪乱する		
136	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集3天使が私を攪乱する		
137	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集4天使が私を攪乱する		
138	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集5天使が私を攪乱する		
139	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集6天使が私を攪乱する		
140	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集7天使が私を攪乱する		
141	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集8天使が私を攪乱する		
142	池田 満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集9天使が私を攪乱する		
143	池田 満寿夫	私をみつめて		
144	池田 満寿夫	女優		
145	池田 満寿夫	天使の言葉		
146	池田 満寿夫	ハートの位置		
147	池田 満寿夫	黄色い空		
148	池田 満寿夫	夢		
149	池田 満寿夫	秘密の箱		
150	池田 満寿夫	私は眠りつつけるA		
151	池田 満寿夫	私は眠りつつけるB		
152	池田 満寿夫	ステージ		
153	池田 満寿夫	草原から空へ		
154	池田 満寿夫	扉と窓		

## 【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
155	池田 満寿夫	九月 B		
156	池田 満寿夫	天使よ故郷を見よ		
157	池田 満寿夫	海辺の午後		
158	池田 満寿夫	午後		
159	池田 満寿夫	名もなきある街 1タイトルページ		
160	池田 満寿夫	名もなきある街A 2		
161	池田 満寿夫	名もなきある街B 3		
162	池田 満寿夫	食後A 4		
163	池田 満寿夫	食後B 5		
164	池田 満寿夫	裏庭 6		
165	池田 満寿夫	窓に向かって泳ぐ 7		
166	池田 満寿夫	劇場の入口 8		
167	池田 満寿夫	ウェルカムA 9		
168	池田 満寿夫	ウェルカムB 10		
169	池田 満寿夫	昼の景色 11		
170	池田 満寿夫	感傷旅行		
171	池田 満寿夫	七つのリグラフィ 1表紙		
172	池田 満寿夫	七つのリグラフィ1 2		
173	池田 満寿夫	七つのリグラフィ2 3		
174	池田 満寿夫	七つのリグラフィ3 4		
175	池田 満寿夫	七つのリグラフィ4 5		
176	池田 満寿夫	七つのリグラフィ5 6		
177	池田 満寿夫	七つのリグラフィ6 7		
178	池田 満寿夫	ラッキーゾーン		
179	池田 満寿夫	見はてぬ夢		
180	池田 満寿夫	彼女の彼女		
181	池田 満寿夫	マドモアゼル		
182	池田 満寿夫	捕えられた女		
183	池田 満寿夫	五番街A		
184	池田 満寿夫	五番街B		
185	池田 満寿夫	デューラーの恋人		
186	池田 満寿夫	ホット・ハット		
187	池田 満寿夫	黒馬に新しい日を1		
188	池田 満寿夫	黒馬に新しい日を2		
189	池田 満寿夫	黒馬に新しい日を3		
190	池田 満寿夫	七つの大罪 タイトルページ1		
191	池田 満寿夫	傲慢の罪 2		
192	池田 満寿夫	吝嗇の罪 3		
193	池田 満寿夫	邪淫の罪 4		
194	池田 満寿夫	嫉妬の罪 5		
195	池田 満寿夫	大食の罪 6		
196	池田 満寿夫	怠惰の罪 7		
197	池田 満寿夫	憤怒の罪 8		
198	池田 満寿夫	紐		
199	池田 満寿夫	マグリット夫人の涙		
200	池田 満寿夫	トラベラーズ・ジョイ アウグストに寄せて		
201	池田 満寿夫	くずれた土		
202	池田 満寿夫	蒼白なる真珠色		
203	池田 満寿夫	枯れたすげ		
204	池田 満寿夫	メラグラーナ		
205	池田 満寿夫	春雷		
206	池田 満寿夫	バラボラ		
207	池田 満寿夫	胚種		
208	池田 満寿夫	花をつけた灯心草		
209	池田 満寿夫	マヌカン		
210	池田 満寿夫	或る聖書 1		
211	池田 満寿夫	或る聖書 2		
212	池田 満寿夫	或る聖書 3		
213	池田 満寿夫	或る聖書 4		
214	池田 満寿夫	貝の耳A		
215	池田 満寿夫	ミス・ベティの受難		
216	池田 満寿夫	女の肖像		

## 【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
217	池田 満寿夫	私自身のアメリカ 1BLOND		
218	池田 満寿夫	私自身のアメリカ 2ある出来事		
219	池田 満寿夫	私自身のアメリカ 3マダム ダヴィンチの肖像		
220	池田 満寿夫	My Imagination Map 1 海の底		
221	池田 満寿夫	My Imagination Map 2 鳥のネックレス		
222	池田 満寿夫	My Imagination Map 3 彼女の首飾り		
223	池田 満寿夫	My Imagination Map 4 少女		
224	池田 満寿夫	捕らわれた天使		
225	池田 満寿夫	海辺の夜		
226	池田 満寿夫	ある風景		
227	池田 満寿夫	白い誘惑		
228	池田 満寿夫	顔A 1		
229	池田 満寿夫	顔B 2		
230	池田 満寿夫	顔C 3		
231	池田 満寿夫	顔D 4		
232	池田 満寿夫	顔E 5		
233	池田 満寿夫	顔F 6		
234	池田 満寿夫	ステージの入口		
235	池田 満寿夫	ピエロたち		
236	池田 満寿夫	海辺にて1 表紙		
237	池田 満寿夫	海辺にて2 室内の風		
238	池田 満寿夫	海辺にて3 カンヌの女		
239	池田 満寿夫	海辺にて4 ダンスは嫌い		
240	池田 満寿夫	海辺にて5 逃げる		
241	池田 満寿夫	海辺にて6 彼女のバルコニー		
242	池田 満寿夫	海辺にて7 彼女は静物		
243	池田 満寿夫	海辺にて8 貝殻の椅子		
244	池田 満寿夫	表面B		
245	恩地 孝四郎	リリックNO.1楽曲によせる抒情 ポロディン“スケルツォ” (※2点あるうちの1点。作品番号II-230)		
246	恩地 孝四郎	リリックNO.1楽曲によせる抒情 ラベル“道化師の朝歌”		
247	恩地 孝四郎	リリックNO.1楽曲によせる抒情 諸井三郎“プレリュード”		

## 広島市現代美術館職員名簿

2021(令和3)年度～2022(令和4)年度

館長	寺口 淳治	
副館長	野中 明	
総務担当課長	寺田 仁久	
主幹(事)主任	竹岡 伸洋	
主査	平野 美津子	～2022年3月
主事	竹本 伸雄	2022年4月～
主事	古田 祐子	
事務推進員	藤井 貴子	～2022年3月
事務推進員	牛尾 美穂	2022年4月～
学芸担当課長	竹口 浩司	
主任(学芸担当)	洲濱 元子	
主任学芸員(学芸担当)	松岡 剛	
学芸員(学芸担当)	角 奈緒子	
学芸員(教育普及担当)	笹野 摩耶	
学芸員(学芸担当)	清水 和音	
学芸員(教育普及担当)	小野 佳奈	
主査(渉外担当)	岩本 史緒	
広報・普及推進員	鈴木 華子	～2022年3月
広報・普及推進員	立花 利恵	
広報・普及推進員	國廣 詞恵	
広報・普及推進員	川空 ほのか	2022年9月～

2021(R3)-2022(R4)年度  
広島市現代美術館年報

---

令和6年2月発行  
発行 広島市現代美術館  
印刷 第一美術印刷株式会社